

注3

大学番号：190

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

名古屋学院大学 現代社会学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名古屋学院大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウゴウセカクカ 総合企画課 カチョウ 課長 テグチ 出口 ヒロヤ 博也

電話番号 052-678-4077

（夜間） 052-678-4080

F A X 052-683-0410

e-mail kikaku@ngu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代社会学部

＜現代社会学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	26
6. 留意事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人名古屋学院大学

(2) 大学名

名古屋学院大学

(3) 大学の位置

名古屋キャンパスしろとり
〒456-8612
愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番25号

名古屋キャンパスひびの
〒456-0062
愛知県名古屋市熱田区大宝三丁目1番17号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イナガキ タカシ) 稲垣隆司 (平成24年8月)	(スエヤス ケンジ) 末安堅二 (平成27年8月)	任期満了のため変更 平成27年8月3日 (28)
学長	(キブネ ヒサオ) 木船久雄 (平成23年4月)	(コバヤシ コウイチ) 小林甲一 (平成29年4月)	任期満了のため変更 平成29年4月1日 (29)
学部長	(コバヤシ コウイチ) 小林甲一 (平成27年4月)	(イザワ トモカズ) 井澤知旦 (平成29年4月)	学部長の学長就任に伴う変更 平成29年4月1日 (29)
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代社会学部 現代社会学科 学士(現代社会)	社会学・社会福祉学関係 経済学関係	4年	150人	年次 - 人	600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150人 (-) [-]	-人 (-) [-]	150人 (-) [-]	-人 (-) [-]	150人 (-) [-]	-人 (-) [-]	150人 (-) [-]	-人 (-) [-]	1.01倍	
志願者数	542 (-) [-]	- (-) [-]	681 (-) [2]	- (-) [-]	1,125 (3) [1]	- (-) [-]	2,039 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	533 (-) [-]	- (-) [-]	671 (-) [2]	- (-) [-]	1,096 (3) [1]	- (-) [-]	2,001 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	446 (-) [-]	- (-) [-]	583 (-) [2]	- (-) [-]	570 (3) [1]	- (-) [-]	448 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	121 (-) [-]	- (-) [-]	153 (-) [2]	- (-) [-]	177 (2) [1]	- (-) [-]	159 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.80		1.02		1.18		1.06			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	121 [-] (-)	- [-] (-)	153 [2] (-)	- [-] (-)	177 [1] (-)	- [-] (-)	159 [-] (-)	- [-] (-)	平成29年度に退学者5名と除籍者9名と他学部への転出者1名が発生し、平成30年度の入学生159名と他学部からの転入生1名を含め587名になった。(30) 平成28年度に退学者2名と除籍者3名が発生し、平成29年度の入学生177名と3年次編入生2名を含め442名になった。(29) 平成27年度に退学者6名が発生し、平成28年度入学生を含め268名になった(28)
2年次	/		115 [-] (-)	- [-] (-)	151 [2] (-)	- [-] (-)	174 [1] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		114 [-] (-)	- [-] (-)	144 [2] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		110 [-] (-)	- [-] (-)	
計	121 [-] (-)		268 [2] (-)		442 [3] (-)		587 [3] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	121 人	6 人	平成27年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(3人)、他の教育機関への入学・転学(2人)、就職(1人)
平成28年度	268 人	5 人	平成27年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、除籍(1人)
			平成28年度	2 人	0 人	除籍(2人)
平成29年度	442 人	14 人	平成27年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、除籍(2人)
			平成28年度	7 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)学生個人の心身に関する事情(1人)、除籍(5人)
			平成29年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、除籍(2人)
平成30年度	587 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	1418 人	25 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{121} = \boxed{4.95} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{268} = \boxed{1.86} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{442} = \boxed{3.16} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{587} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代社会学部 現代社会学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教	キリスト教概説	1前	2									兼1
	キリスト教	1後	2									兼1
	キリスト教と文学	2・3・4前		2								兼1
	キリスト教と文化	2・3・4後		2								兼1
	キリスト教倫理	2・3・4前		2								兼1
自己理解と自己開発	キリスト教史	1・2・3・4後		2								兼1
	基礎セミナー	1前	2			9	4	4				
	発展セミナー	1後	2									兼1
	キャリアデザイン1a	1前		2				1				兼1
	キャリアデザイン1b	1後		2				1				兼1
	キャリアデザイン2a	2前		2								兼2
	キャリアデザイン2b	2後		2								兼2
	キャリアデザイン3a	3前		2								兼1
	キャリアデザイン3b	3後		2								兼1
	ボランティア学	1・2・3・4前		2		1						
	ボランティア演習	1・2・3・4後		2								兼1
	インターンシップ1	1・2・3・4前・後		2								兼1
	インターンシップ2	1・2・3・4前・後		2								兼1
N G U 教養スタンダード科目	哲学	1・2・3・4前		2								兼1
	哲学史	1・2・3・4後		2								兼1
	日本文学	1・2・3・4前		2								兼1
	日本文学史	1・2・3・4後		2								兼1
	心理学概論	1・2・3・4前・後		2								兼2
	文明論	1・2・3・4後		2		1						
	宗教と人間	1・2・3・4後		2								兼1
	聖書と人間	1・2・3・4前		2								兼1
	キリスト教人間学	2・3・4前		2								兼1
	死生学	1・2・3・4前		2			1					兼2
	臨床心理学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	宗教社会学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	比較宗教学	1・2・3・4後		2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後		2								兼1
	現代社会と法律	1・2・3・4前・後		2								兼1
	現代社会と経済	1・2・3・4前・後		2								兼1
	企業と社会	1・2・3・4前・後		2								兼1
	国際関係論入門	1・2・3・4後		2								兼1
	国際政治学	1・2・3・4前		2								兼1
	国際社会問題	1・2・3・4前・後		2								兼1
現代社会と教育	1・2・3・4後		2								兼1	
平和学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
人権と社会	1・2・3・4前・後		2								兼1	
社会的教養	数学	1・2・3・4前		2								兼1
	数理科学	1・2・3・4後		2								兼1
	基礎統計学	1・2・3・4前		2								兼1
	実用統計学	1・2・3・4後		2								兼1
	化学	1・2・3・4前		2								兼1
	生物学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	地球科学概論	1・2・3・4前		2								兼1
	地球物理学概論	1・2・3・4後		2								兼1
	人類学	1・2・3・4前		2		1						
	物理学	1・2・3・4後		2								兼1
生命倫理	1・2・3・4後		2								兼2	
歴史文化理解	日本史	1・2・3・4前		2								兼1
	日本思想史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	中国文化入門	1・2・3・4前		2								兼1
	英米文化入門	1・2・3・4後		2								兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4後		2		1						兼1
	世界の近現代史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	世界史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	考古学入門	1・2・3・4後		2								兼1
	陶芸論	1・2・3・4前		2								兼1
	陶芸演習	1・2・3・4後		2								兼1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教	キリスト教概説	1前	2									兼1
	キリスト教	1後	2									兼1
	キリスト教と文学	2・3・4前		2								兼1
	キリスト教と文化	2・3・4後		2								兼1
	キリスト教倫理	2・3・4前		2								兼1
自己理解と自己開発	キリスト教史	1・2・3・4後		2								兼1
	基礎セミナー	1前	2			4	5	0				
	発展セミナー	1後	2									兼1
	キャリアデザイン1a	1前		2				1	0			兼1
	キャリアデザイン1b	1後		2				1	0			兼1
	キャリアデザイン2a	2前		2				1				兼2
	キャリアデザイン2b	2後		2				1				兼2
	キャリアデザイン3a	3前		2				1				兼0
	キャリアデザイン3b	3前・後		2				1				兼0
	ボランティア学(未開講)	1・2・3・4前		2		1						兼1
	ボランティア演習	1・2・3・4後		2								兼2
	インターンシップ1	1・2・3・4前・後		2								兼3
	インターンシップ2	1・2・3・4前・後		2								兼3
N G U 教養スタンダード科目	哲学	1・2・3・4前		2								兼1
	哲学史	1・2・3・4後		2								兼1
	日本文学	1・2・3・4前		2								兼1
	日本文学史	1・2・3・4後		2								兼1
	心理学概論	1・2・3・4前・後		2								兼1
	文明論	1・2・3・4後		2		0						兼1
	宗教と人間	1・2・3・4前		2								兼1
	聖書と人間	1・2・3・4前・後		2								兼2
	キリスト教人間学	2・3・4前		2								兼1
	死生学	1・2・3・4前		2					0			兼1
	臨床心理学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	宗教社会学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	比較宗教学	1・2・3・4後		2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後		2								兼1
	現代社会と法律	1・2・3・4前・後		2								兼1
	現代社会と経済	1・2・3・4前・後		2								兼2
	企業と社会	1・2・3・4前・後		2								兼1
	国際関係論入門	1・2・3・4後		2								兼1
	国際政治学	1・2・3・4前		2								兼1
	国際社会問題	1・2・3・4前・後		2								兼1
現代社会と教育	1・2・3・4後		2								兼1	
平和学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
人権と社会	1・2・3・4前・後		2								兼1	
社会的教養	数学	1・2・3・4前		2								兼1
	数理科学	1・2・3・4後		2								兼1
	基礎統計学	1・2・3・4前		2								兼1
	実用統計学(未開講)	1・2・3・4後		2								兼0
	化学	1・2・3・4前		2								兼1
	生物学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	地球科学概論	1・2・3・4前		2								兼1
	地球物理学概論	1・2・3・4後		2								兼1
	人類学	1・2・3・4前		2		0						兼1
	物理学	1・2・3・4後		2								兼1
生命倫理	1・2・3・4後		2								兼1	
歴史文化理解	日本史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	日本思想史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	中国文化入門	1・2・3・4前		2								兼1
	英米文化入門	1・2・3・4後		2								兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4後		2		1						兼1
	世界の近現代史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	世界史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	考古学入門	1・2・3・4後		2								兼1
	陶芸論	1・2・3・4前・後		2								兼1
	陶芸演習	1・2・3・4後		2								兼1

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
												修	択	由
N G U 教養スタンダード科目	環境理解	環境科学	1・2・3・4前	2								兼1		
	環境理解	生態学	1・2・3・4前・後	2								兼1		
	社会的教養	環境理解	地球環境学	1・2・3・4前	2								兼1	
		身体的理解	健康の科学	1・2・3・4前・後	2									兼1
			スポーツの科学	1・2・3・4前・後	2									兼1
			スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1									兼2
			スポーツ初級B	1・2・3・4前・後	1									兼2
			スポーツ中級A	2・3・4前・後	1									兼3
			スポーツ中級B	2・3・4前・後	1									兼1
			スポーツ上級A	3・4前・後	1									兼1
	スポーツ上級B		3・4後	1									兼1	
	地域理解	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前・後	2		1							兼1	
		歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
		減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前・後	2		1								
		地域商業まちづくり演習	1・2・3・4後	2		1								
		歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4後	2									兼1	
		減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4後	2		1								
	上級まちづくり演習	2・3・4前・後	2		2							兼1		
	言語とコミュニケーション	日本語表現	1前・後	2									兼3	
		日本語表現上級	1前・後	2									兼3	
基礎英語1		1前	1									兼3		
基礎英語2		1後	1									兼3		
英会話1		1前	1									兼2		
英会話2		1後	1									兼2		
実用英語演習1		2前	1									兼2		
実用英語演習2		2後	1									兼2		
情報英語演習1		2前	1									兼1		
情報英語演習2		2後	1									兼1		
TOEIC英語演習1		2前	1									兼1		
TOEIC英語演習2		2後	1									兼1		
ドイツ語1		2前	1									兼1		
ドイツ語2		2後	1									兼1		
フランス語1		2前	1									兼1		
フランス語2		2後	1									兼1		
スペイン語1		2前	1									兼1		
スペイン語2		2後	1									兼1		
中国語1		2前	1									兼3		
中国語2		2後	1									兼3		
韓国語1	2前	1									兼1			
韓国語2	2後	1									兼1			
手話入門	1前	1									兼1			
手話基礎	1後	1									兼1			
情報理解	情報処理基礎	1前	2									兼1		
	情報概論	2後	2									兼1		
教職	教職論	1後	2									兼1		
	教育原理	1後	2									兼1		
	教育心理学概論1	1前	2									兼1		
	教育心理学概論2	1後	2									兼1		
	教育制度論	1前	2									兼1		
	特別活動論	2前	2									兼1		
	教育の方法と技術	2後	2									兼1		
	道徳教育論	2後	2									兼1		
	生徒・進路指導論	2後	2									兼1		
	教育相談	2前	2									兼1		
専門基礎科目	社会学入門	1前	2		1									
	現代社会入門	1前	2		3	2	1							
	ミクロ経済学入門	1前	2			1								
	マクロ経済学入門	1後	2			1								
	法学入門	1前	2			1								
	地域政策入門	1後	2		2									
	社会リサーチ入門	1後	2				2							

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
												修	択	由
N G U 教養スタンダード科目	環境理解	環境科学(未開講)	1・2・3・4前	2								兼0		
	環境理解	生態学	1・2・3・4後	2								兼1		
	社会的教養	環境理解	地球環境学	1・2・3・4前	2								兼1	
		身体的理解	健康の科学	1・2・3・4前・後	2									兼1
			スポーツの科学	1・2・3・4後	2									兼1
			スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1									兼5
			スポーツ初級B	1・2・3・4後	1									兼5
			スポーツ中級A	2・3・4前・後	1									兼5
			スポーツ中級B	2・3・4後	1									兼5
			スポーツ上級A	3・4後	1									兼1
	スポーツ上級B		3・4後	1									兼1	
	地域理解	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前	2		2							兼1	
		歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前・後	2									兼1	
		減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前・後	2		0							兼1	
		地域商業まちづくり演習	1・2・3・4後	2		1								
		歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4前・後	2									兼1	
		減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4前・後	2		0							兼1	
	上級まちづくり演習	2・3・4前・後	2		0							兼2		
	言語とコミュニケーション	日本語表現	1前・後	2									兼3	
		日本語表現上級	1前・後	2									兼3	
基礎英語1		1前	1									兼5		
基礎英語2		1後	1									兼5		
英会話1		1前	1									兼6		
英会話2		1後	1									兼6		
実用英語演習1		2前	1									兼2		
実用英語演習2		2後	1									兼2		
情報英語演習1		2前	1									兼1		
情報英語演習2		2後	1									兼1		
TOEIC英語演習1		2前	1									兼1		
TOEIC英語演習2		2後	1									兼1		
ドイツ語1		2前	1									兼1		
ドイツ語2		2後	1									兼1		
フランス語1		2前	1									兼1		
フランス語2		2後	1									兼1		
スペイン語1		2前	1									兼1		
スペイン語2		2後	1									兼1		
中国語1		2前	1									兼2		
中国語2		2後	1									兼2		
韓国語1	2前	1									兼1			
韓国語2	2後	1									兼1			
手話入門	1後	1									兼1			
手話基礎	1後	1									兼1			
情報理解	情報処理基礎	1前	2									兼1		
	情報概論	2後	2									兼1		
教職	教職論	1前	2					1	0			兼0		
	教育原理	1前	2									兼1		
	教育心理学概論1	1前	2									兼1		
	教育心理学概論2	1後	2									兼1		
	教育制度論	1後	2									兼1		
	特別活動論	2後	2									兼1		
	教育の方法と技術	2後	2									兼1		
	道徳教育論	2前	2									兼1		
	生徒・進路指導論	2前	2									兼1		
	教育相談	2前	2									兼1		
専門基礎科目	社会学入門	1前	2		1									
	現代社会入門	1前	2		0	1	0							
	ミクロ経済学入門	1前	2			1								
	マクロ経済学入門	1後	2			0						兼1		
	法学入門	1前	2			1								
	地域政策入門	1後	2		2									
	社会リサーチ入門	1後	2			2	0							

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	社会学理論	2前	2			1						兼1
	社会学史	2後	2									
	地域社会学	2前	2			1						
	産業社会学	2後	2			1						
	家族社会学	2後	2					1				
	社会心理学	2後	2				1					
	文化人類学	2前	2			1						
	社会政策論	2前	2			1						
	経済社会学	2前	2				1					
	現代経済分析	2前	2			1						
	経済政策論	2後	2			1						
	現代産業論	2後	2			1						
	日本経済入門	2前	2			1						
	民法入門	2後	2				1					
	名古屋都市論	2後	2			1						
プロジェクト演習A	2・3前・後	2	2	3	3	3	3					
プロジェクト演習B	2・3通	4	3	3	3	3						
人間社会と心理	コミュニケーション論	2後	2			1						
	メディア論	2前	2					1				
	人間発達の経済学	3・4後	2			1						
	労働社会学	3・4後	2			1						
	経済社会と倫理	3・4前	2									兼1
	福祉社会論	2後	2					1				
	現代社会と人間	2前	2			1						
	ジェンダー論	2前	2									兼1
	ヒューマンサービス論	3・4前	2					1				
	産業・組織心理学	2後	2				1					
	集団行動の心理学	3・4前	2				1					
	キャリアと人間発達	2・3・4後	2					1				
	カウンセリング論	2・3・4前	2					1				
	社会問題と心理	3・4後	2				1					
	経済社会と企業	現代経済学	2後	2								
統計学		2・3・4前	2									兼1
金融論		2後	2									兼1
国際経済学		3・4前	2									兼1
日本経済論		2後	2			1						
日本史概説		1・2前	2									兼1
外国史概説		1・2前	2									兼1
日本経済史		3・4前	2			1						
現代企業史		3・4後	2			1						
企業経済論		3・4前	2									兼1
地域経済論		3・4後	2			1						
ものづくり経済論		3・4前	2			1						
起業経営論		3・4後	2									兼1
社会的企業論		3・4前	2			1						
企業研究1		2・3・4前	2			2						
企業研究2	2・3・4後	2			2							
労働経済学	3・4前	2									兼1	
環境経済論	2後	2									兼1	
社会制度と政策	財政学	2前	2									兼1
	政治学1	2前	2									兼1
	政治学2	2後	2									兼1
	行政学	3・4前	2									兼1
	公共経営論	3・4後	2									兼1
	都市政策論	2後	2			1						
	文化政策論	2後	2			1						
	行政法	3・4後	2									兼1
	共生社会と法	2・3・4前	2				1					
	社会生活と法1	2・3・4前	2				1					
	社会生活と法2	2・3・4後	2				1					
	商法	3・4前	2									兼1
	会社法	3・4後	2									兼1
	国際法1	2・3・4前	2									兼1
	国際法2	2・3・4後	2									兼1
国際政治	3・4前	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	社会学理論	2前	2			1						
	社会学史	2後	2									兼1
	地域社会学	2後	2			1						
	産業社会学	2後	2			1						
	家族社会学	2後	2					1				
	社会心理学	2後	2				1					
	文化人類学	2前	2			1						
	社会政策論	2前	2			1						
	経済社会学	2前	2				1					
	現代経済分析	2前	2			1						
	経済政策論	2後	2			1						
	現代産業論	2後	2			1						
	日本経済入門	2前	2			1						
	民法入門	2後	2				1					
	名古屋都市論	2後	2			1						
プロジェクト演習A	2・3前・後	2	2	2	2	1	1	0				
プロジェクト演習B	2・3通	4	1	3	0							
人間社会と心理	コミュニケーション論	2後	2			1						
	メディア論	2前	2					1	0			
	人間発達の経済学	3・4前	2			1						
	労働社会学	3・4後	2			0						兼1
	経済社会と倫理	3・4前	2									兼1
	福祉社会論	2後	2					1	0			
	現代社会と人間	2前	2			1						
	ジェンダー論	2前	2									兼1
	ヒューマンサービス論	3・4前	2					1	0			
	産業・組織心理学	2後	2				1					
	集団行動の心理学	3・4前	2				1					
	キャリアと人間発達	2・3・4後	2					1	0			
	カウンセリング論	2・3・4前	2					1	0			
	社会問題と心理	3・4後	2				1					
	経済社会と企業	現代経済学	2前	2								
統計学		2・3・4前	2									兼1
金融論		2後	2									兼1
国際経済学		3・4後	2									兼1
日本経済論		2後	2			1						
日本史概説		1・2後	2									兼1
外国史概説		1・2前	2									兼1
日本経済史		3・4前	2			1						
現代企業史		3・4後	2			1						
企業経済論		3・4前	2									兼2
地域経済論		3・4後	2			1						
ものづくり経済論		3・4前	2			1						
起業経営論(未開講)		3・4後	2									兼1
社会的企業論		3・4前	2			1						
企業研究1(未開講)		2・3・4後	2			2						兼1
企業研究2	2・3・4後	2			2						兼1	
労働経済学	3・4前	2									兼1	
環境経済論	2後	2									兼1	
社会制度と政策	財政学	2前	2									兼1
	政治学1	2前	2									兼1
	政治学2	2後	2									兼1
	行政学	3・4後	2									兼1
	公共経営論	3・4前	2									兼1
	都市政策論	2後	2			1						
	文化政策論	2後	2			1						
	行政法	3・4後	2									兼1
	共生社会と法	2・3・4前	2				1					
	社会生活と法1	2・3・4前	2				1					
	社会生活と法2	2・3・4後	2				1					
	商法(未開講)	3・4前	2									兼1
	会社法(未開講)	3・4前	2									兼1
	国際法1	2・3・4前	2									兼1
	国際法2	2・3・4後	2									兼1
国際政治	3・4前	2									兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	社会保障論	2後	2			1						
	環境社会学	3・4前	2			1						
	ライフコース論	3・4後	2					1				
	情報社会学	2後	2					1				
	生活誌の人類学	3・4前	2			1						
	セルフプロデュース論	2・3・4前	2			1						
	家族と法	2・3・4後	2				1					
	地域社会と法	3・4前	2				1					
	地理学	2・3前	2								兼1	
	地誌学	2・3前	2								兼1	
	自然地理学	2・3前	2								兼1	
	地域コミュニティ論	3・4後	2				1					
	観光まちづくり論	2後	2			1						
ひとまちづくり論	2後	2			1							
都市デザイン論	3・4前	2			1							
関連科目	デジタルプレゼンテーション	1前	2								兼1	
	データ表現技法	1後	2								兼1	
	社会調査法1	2・3・4前	2								兼1	
	社会調査法2	2・3・4後	2								兼1	
	データ分析	2・3・4後	2								兼1	
	現代社会調査	2・3・4前・後	2					2				
留學&インターンシップ	国際理解1	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解2	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解3	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解4	1・2・3・4前・後	2			1						
	中長期インターンシップ1	2・3・4前・後	2			1						
	中長期インターンシップ2	2・3・4前・後	2			1						
演習科目	専門基礎演習	2通	4			9	4	4				
	現代社会演習1	3通	4			9	4	4				
	現代社会演習2	4通	4			9	4	4				
	卒業研究	4通	4			9	4	4				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	社会保障論	2前	2			0	1					
	環境社会学	3・4前	2			1						
	ライフコース論	3・4前	2				1	0				
	情報社会学	2後	2				1	0				
	生活誌の人類学	3・4前	2			1						
	セルフプロデュース論	2・3・4前	2			1						
	家族と法	2・3・4後	2				1					
	地域社会と法	3・4前	2				1					
	地理学	2・3前	2								兼1	
	地誌学	2・3前	2								兼1	
	自然地理学	2・3前	2								兼1	
	地域コミュニティ論	3・4前	2				1					
	観光まちづくり論	2前	2			1						
ひとまちづくり論	2後	2			1							
都市デザイン論	3・4前	2			1							
関連科目	デジタルプレゼンテーション	1前	2								兼1	
	データ表現技法	1後	2								兼1	
	社会調査法1	2・3・4前	2								兼1	
	社会調査法2	2・3・4後	2								兼1	
	データ分析	2・3・4後	2								兼1	
	現代社会調査	2・3・4後	2					1	0			
留學&インターンシップ	国際理解1	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解2	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解3	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解4	1・2・3・4前・後	2			1						
	中長期インターンシップ1	2・3・4前・後	2			0	1					
	中長期インターンシップ2	2・3・4前・後	2			0	1					
演習科目	専門基礎演習	2通	4			7	6	0				
	現代社会演習1	3通	4			7	7	0				
	現代社会演習2	4通	4			8	6	0				
	卒業研究	4通	4			8	6	0				

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キリスト教	キリスト教概説	1前	2								兼1
	キリスト教概説	1後	2								兼1
	キリスト教と文学	2・3・4前	2								兼1
	キリスト教と文化	2・3・4後	2								兼1
	キリスト教倫理	2・3・4前	2								兼1
キリスト教史	1・2・3・4後	2								兼1	
自己理解と自己開発	基礎セミナー	1前	2			9	4	5			
	発展セミナー	1後	2								兼1
	キャリアデザイン1a	1前	2					1			兼1
	キャリアデザイン1b	1後	2					1			兼1
	キャリアデザイン2a	2前	2								兼2
	キャリアデザイン2b	2後	2								兼2
	キャリアデザイン3a	3前	2								兼1
	キャリアデザイン3b	3後	2								兼1
	ボランティア学	1・2・3・4前	2			1					兼1
	ボランティア演習	1・2・3・4後	2					2			兼1
インターンシップ1	1・2・3・4前・後	2								兼1	
インターンシップ2	1・2・3・4前・後	2								兼1	
人間理解	哲学	1・2・3・4前	2								兼1
	哲学史	1・2・3・4後	2								兼1
	日本文学	1・2・3・4前	2								兼1
	日本文学史	1・2・3・4後	2								兼1
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2								兼2
	文明論	1・2・3・4後	2			1					
	宗教と人間	1・2・3・4前	2								兼1
	聖書と人間	1・2・3・4前	2								兼2
	キリスト教人間学	2・3・4前	2								兼1
	死生学	1・2・3・4前	2					0			兼1
	臨床心理学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	宗教社会学	1・2・3・4前・後	2								兼2
	比較宗教学	1・2・3・4後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1
	社会理解	現代社会と法律	1・2・3・4前・後	2							
現代社会と経済		1・2・3・4前・後	2								兼1
企業と社会		1・2・3・4前・後	2								兼1
国際関係論入門		1・2・3・4後	2								兼1
国際政治学		1・2・3・4前	2								兼1
国際社会問題		1・2・3・4前・後	2								兼2
現代社会と教育		1・2・3・4後	2								兼1
平和学入門		1・2・3・4前・後	2								兼1
人権と社会		1・2・3・4前	2								兼1
自然理解		数学	1・2・3・4前	2							
	数理科学	1・2・3・4後	2								兼1
	基礎統計学	1・2・3・4前	2								兼1
	実用統計学	1・2・3・4後	2								兼1
	化学	1・2・3・4前	2								兼1
	生物学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地球科学概論	1・2・3・4前	2								兼1
	地球物理学概論	1・2・3・4後	2								兼1
	人類学	1・2・3・4前	2			1					兼1
	物理学	1・2・3・4後	2								兼1
生命倫理	1・2・3・4後	2								兼1	
歴史文化理解	日本史	1・2・3・4前	2								兼1
	日本思想史	1・2・3・4前・後	2								兼1
	中国文化入門	1・2・3・4前	2								兼1
	英米文化入門	1・2・3・4後	2								兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2			1					兼1
	世界の近現代史	1・2・3・4前・後	2								兼1
	世界史	1・2・3・4前・後	2								兼1
	考古学入門	1・2・3・4後	2								兼1
	陶芸論	1・2・3・4前	2								兼1
	陶芸演習	1・2・3・4後	2								兼1
環境理解	環境科学	1・2・3・4前	2								兼1
	生態学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地球環境学	1・2・3・4前	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
キリスト教	キリスト教概説	1前	2								兼1
	キリスト教概説	1後	2								兼1
	キリスト教と文学	2・3・4前	2								兼1
	キリスト教と文化	2・3・4後	2								兼1
	キリスト教倫理	2・3・4前	2								兼2
キリスト教史	1・2・3・4後	2								兼1	
自己理解と自己開発	基礎セミナー	1前	2			9	6	3			
	発展セミナー	1後	2								兼1
	キャリアデザイン1a	1前	2				1	0			兼1
	キャリアデザイン1b	1後	2				1	0			兼1
	キャリアデザイン2a	2前	2				1				兼2
	キャリアデザイン2b	2後	2				1				兼2
	キャリアデザイン3a	3前	2								兼1
	キャリアデザイン3b	3後	2								兼1
	ボランティア学(未開講)	1・2・3・4前	2			1					兼1
	ボランティア演習	1・2・3・4後	2					1	1		兼1
インターンシップ1	1・2・3・4前・後	2								兼3	
インターンシップ2	1・2・3・4前・後	2								兼3	
人間理解	哲学	1・2・3・4前	2								兼1
	哲学史	1・2・3・4後	2								兼1
	日本文学	1・2・3・4前	2								兼1
	日本文学史	1・2・3・4後	2								兼1
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2								兼1
	文明論	1・2・3・4後	2			1					
	宗教と人間	1・2・3・4前	2								兼1
	聖書と人間	1・2・3・4前	2								兼2
	キリスト教人間学	2・3・4前	2								兼1
	死生学	1・2・3・4前	2					0			兼1
	臨床心理学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	宗教社会学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	比較宗教学	1・2・3・4後	2								兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2								兼1
	社会理解	現代社会と法律	1・2・3・4前・後	2							
現代社会と経済		1・2・3・4前・後	2								兼1
企業と社会		1・2・3・4前・後	2								兼1
国際関係論入門		1・2・3・4後	2								兼1
国際政治学		1・2・3・4前	2								兼1
国際社会問題		1・2・3・4前・後	2								兼1
現代社会と教育		1・2・3・4後	2								兼1
平和学入門		1・2・3・4前・後	2								兼1
人権と社会		1・2・3・4前	2								兼1
自然理解		数学	1・2・3・4前	2							
	数理科学	1・2・3・4後	2								兼1
	基礎統計学	1・2・3・4前	2								兼1
	実用統計学	1・2・3・4後	2								兼1
	化学	1・2・3・4前	2								兼1
	生物学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地球科学概論	1・2・3・4前	2								兼1
	地球物理学概論	1・2・3・4後	2								兼1
	人類学	1・2・3・4前	2			1					兼1
	物理学	1・2・3・4後	2								兼1
生命倫理	1・2・3・4後	2								兼1	
歴史文化理解	日本史	1・2・3・4前	2								兼2
	日本思想史	1・2・3・4前・後	2								兼1
	中国文化入門	1・2・3・4前	2								兼1
	英米文化入門	1・2・3・4後	2								兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2			1					兼1
	世界の近現代史	1・2・3・4前・後	2								兼1
	世界史	1・2・3・4前・後	2								兼1
	考古学入門	1・2・3・4後	2								兼1
	陶芸論	1・2・3・4前	2								兼1
	陶芸演習	1・2・3・4後	2								兼1
環境理解	環境科学	1・2・3・4前	2								兼1
	生態学	1・2・3・4前・後	2								兼1
	地球環境学	1・2・3・4前	2								兼1

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
N G U 教養スタンダード科目	社会的	健康の科学	1・2・3・4前・後	2								兼1			
			1・2・3・4前・後	2									兼1		
			1・2・3・4前・後	1									兼4		
			1・2・3・4後	1									兼4		
			2・3・4前・後	1									兼2		
			2・3・4前・後	1									兼3		
			3・4前・後	1									兼1		
			3・4後	1									兼1		
	地域理解	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前	2			2						兼1		
			1・2・3・4前・後	2									兼1		
			1・2・3・4前・後	2			0						兼1		
			1・2・3・4後	2			1						兼1		
			1・2・3・4後	2									兼1		
			1・2・3・4後	2			0						兼1		
			2・3・4前・後	2			2						兼1		
			言語とコミュニケーション	日本語表現	1前・後	2									兼3
					1前・後	2									兼3
					1前	1									兼5
					1後	1									兼5
1前	1											兼6			
1後	1											兼6			
2前	1											兼2			
2後	1											兼2			
2前	1											兼1			
2後	1											兼1			
2前	1											兼1			
2後	1									兼1					
2前	1									兼1					
2後	1									兼1					
2前	1									兼1					
2後	1									兼1					
2前	1									兼1					
2後	1									兼1					
2前	1									兼1					
2後	1									兼1					
1後	1									兼1					
1後	1									兼1					
情報	情報処理基礎	1前	2									兼1			
		2後	2									兼1			
	教職	教職論	1前	2				1					兼0		
			1前	2									兼1		
			1前	2									兼1		
			1後	2									兼1		
			1後	2									兼1		
			2前	2									兼1		
			2後	2									兼1		
			2後	2									兼1		
			2後	2									兼1		
2前	2									兼1					
専門基礎科目	社会学入門	1前	2			1									
		1前	2			3	2	1							
		1前	2				1								
		1後	2				1								
		1前	2				1								
		1後	2			2									
		1後	2						2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
N G U 教養スタンダード科目	社会的	健康の科学	1・2・3・4前・後	2									兼1		
			1・2・3・4前・後	2									兼1		
			1・2・3・4前・後	1									兼4		
			1・2・3・4後	1									兼4		
			2・3・4前・後	1									兼5		
			2・3・4前・後	1									兼5		
			3・4前・後	1									兼1		
			3・4後	1									兼1		
	地域理解	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前	2			2						兼1		
			1・2・3・4前・後	2									兼1		
			1・2・3・4前・後	2			0						兼1		
			1・2・3・4後	2			1						兼1		
			1・2・3・4後	2									兼1		
			1・2・3・4後	2			0						兼1		
			2・3・4前・後	2			1						兼2		
			言語とコミュニケーション	日本語表現	1前・後	2									兼3
					1前・後	2									兼3
					1前	1									兼5
					1後	1									兼5
1前	1											兼6			
1後	1											兼6			
2前	1											兼2			
2後	1											兼2			
2前	1											兼1			
2後	1											兼1			
2前	1											兼1			
2後	1									兼1					
2前	1									兼1					
2後	1									兼1					
2前	1									兼1					
2後	1									兼1					
1後	1									兼1					
1後	1									兼1					
情報	情報処理基礎	1前	2									兼1			
		2後	2									兼1			
	教職	教職論	1前	2							1		兼0		
			1前	2									兼1		
			1前	2									兼1		
			1後	2									兼1		
			1後	2									兼1		
			2前	2									兼1		
			2後	2									兼1		
			2後	2									兼1		
			2後	2									兼1		
2前	2									兼1					
専門基礎科目	社会学入門	1前	2			1									
		1前	2			3	3	0							
		1前	2				1								
		1後	2				1								
		1前	2				1								
		1後	2			2									
		1後	2						1	1					

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	社会学理論	2前	2		1							
	社会学史	2後	2									兼1
	地域社会学	2前	2		1							
	産業社会学	2後	2		1							
	家族社会学	2後	2				1					
	社会心理学	2後	2			1						
	文化人類学	2前	2		1							
	社会政策論	2前	2		1							
	経済社会学	2前	2			1						
	現代経済分析	2前	2		1							
	経済政策論	2後	2		1							
	現代産業論	2後	2		1							
	日本経済入門	2前	2		1							
	民法入門	2後	2			1						
	名古屋都市論	2後	2		1							
プロジェクト演習A	2・3前・後	2		3	3	3						
プロジェクト演習B	2・3通	4		3	3	3						
人間社会と心理	コミュニケーション論	2後	2		1							
	メディア論	2前	2				1					
	人間発達の経済学	3・4後	2		1							
	労働社会学	3・4後	2		1							
	経済社会と倫理	3・4前	2									兼1
	福祉社会学	2後	2				1					
	現代社会と人間	2前	2		1							
	ジェンダー論	2前	2									兼1
	ヒューマンサービス論	3・4前	2				1					
	産業・組織心理学	2後	2			1						
	集団行動の心理学	3・4前	2			1						
	キャリアと人間発達	2・3・4後	2				1					
	カウンセリング論	2・3・4前	2				1					
	社会問題と心理	3・4後	2			1						
	経済社会と企業	現代経済学	2後	2								
統計学		2・3・4前	2									兼1
金融論		2後	2									兼1
国際経済学		3・4前	2									兼1
日本経済論		2後	2		1							
日本史概説		1・2前	2									兼1
外国史概説		1・2前	2									兼1
日本経済史		3・4前	2		1							
現代企業史		3・4後	2		1							
企業経済論		3・4前	2									兼1
地域経済論		3・4後	2		1							
ものづくり経済論		3・4前	2		1							
起業経営論		3・4後	2									兼1
社会的企業論		3・4前	2		1							
企業研究1		2・3・4前	2		2							
企業研究2	2・3・4後	2		2								
労働経済学	3・4前	2									兼1	
環境経済論	2後	2									兼1	
社会制度と政策	財政学	2前	2									兼1
	政治学1	2前	2									兼1
	政治学2	2後	2									兼1
	行政学	3・4前	2									兼1
	公共経営論	3・4後	2									兼1
	都市政策論	2後	2		1							
	文化政策論	2後	2		1							
	行政法	3・4後	2									兼1
	共生社会と法	2・3・4前	2			1						
	社会生活と法1	2・3・4前	2			1						
	社会生活と法2	2・3・4後	2			1						
	商法	3・4前	2									兼1
	会社法	3・4後	2									兼1
	国際法1	2・3・4前	2									兼1
	国際法2	2・3・4後	2									兼1
国際政治	3・4前	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	社会学理論	2前	2		1							
	社会学史	2後	2									兼1
	地域社会学	2前	2		1							
	産業社会学	2後	2		1							
	家族社会学	2後	2				1	0				
	社会心理学	2後	2			1						
	文化人類学	2前	2		1							
	社会政策論	2前	2		1							
	経済社会学	2前	2			1						
	現代経済分析	2前	2		1							
	経済政策論	2後	2		1							
	現代産業論	2後	2		1							
	日本経済入門	2前	2		1							
	民法入門	2後	2			1						
	名古屋都市論	2後	2		1							
プロジェクト演習A	2・3前・後	2		3	4	2						
プロジェクト演習B	2・3通	4		3	4	2						
人間社会と心理	コミュニケーション論	2後	2		1							
	メディア論	2前	2				1					
	人間発達の経済学	3・4後	2		1							
	労働社会学	3・4後	2		1							
	経済社会と倫理	3・4前	2									兼1
	福祉社会学	2後	2				1					
	現代社会と人間	2前	2		1							
	ジェンダー論	2前	2									兼1
	ヒューマンサービス論	3・4前	2				1					
	産業・組織心理学	2後	2			1						
	集団行動の心理学	3・4前	2			1						
	キャリアと人間発達	2・3・4後	2				1	0				
	カウンセリング論	2・3・4前	2				1	0				
	社会問題と心理	3・4後	2			1						
	経済社会と企業	現代経済学	2後	2								
統計学		2・3・4前	2									兼1
金融論		2後	2									兼1
国際経済学		3・4前	2									兼1
日本経済論		2後	2		1							
日本史概説		1・2前	2									兼1
外国史概説		1・2前	2									兼1
日本経済史		3・4前	2		1							
現代企業史		3・4後	2		1							
企業経済論		3・4前	2									兼1
地域経済論		3・4後	2		1							
ものづくり経済論		3・4前	2		1							
起業経営論		3・4後	2									兼1
社会的企業論		3・4前	2		1							
企業研究1(未開講)		2・3・4前	2		2							
企業研究2	2・3・4後	2		2							兼1	
労働経済学	3・4前	2									兼1	
環境経済論	2後	2									兼1	
社会制度と政策	財政学	2前	2									兼1
	政治学1	2前	2									兼1
	政治学2	2後	2									兼1
	行政学	3・4前	2									兼1
	公共経営論	3・4後	2									兼1
	都市政策論	2後	2		1							
	文化政策論	2後	2		1							
	行政法	3・4後	2									兼1
	共生社会と法	2・3・4前	2			1						
	社会生活と法1	2・3・4前	2			1						
	社会生活と法2	2・3・4後	2			1						
	商法	3・4前	2									兼1
	会社法	3・4後	2									兼1
	国際法1	2・3・4前	2									兼1
	国際法2	2・3・4後	2									兼1
国際政治	3・4前	2									兼1	

【平成27年度】

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	社会保障論	2後	2			1						
	環境社会学	3・4前	2			1						
	ライフコース論	3・4後	2					1				
	情報社会学	2後	2					1				
	生活誌の人類学	3・4前	2			1						
	セルフプロデュース論	2・3・4前	2			1						
	家族と法	2・3・4後	2				1					
	地域社会と法	3・4前	2				1					
	地理学	2・3前	2									兼1
	地誌学	2・3前	2									兼1
	自然地理学	2・3前	2									兼1
	地域コミュニティ論	3・4後	2				1					
	観光まちづくり論	2後	2			1						
ひとまちづくり論	2後	2			1							
都市デザイン論	3・4前	2			1							
関連科目	デジタルプレゼンテーション	1前	2									兼1
	データ表現技法	1後	2									兼1
	社会調査法1	2・3・4前	2									兼1
	社会調査法2	2・3・4後	2									兼1
	データ分析	2・3・4後	2									兼1
	現代社会調査	2・3・4前・後	2					2				
	留学&インターン	国際理解1	1・2・3・4前・後	2			1					
	国際理解2	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解3	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解4	1・2・3・4前・後	2			1						
	中長期インターンシップ1	2・3・4前・後	2			1						
	中長期インターンシップ2	2・3・4前・後	2			1						
演習科目	専門基礎演習	2通	4			9	4	5				
	現代社会演習1	3通	4			9	4	5				
	現代社会演習2	4通	4			9	4	5				
	卒業研究	4通	4			9	4	5				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	社会保障論	2後	2			1						
	環境社会学	3・4前	2			1						
	ライフコース論	3・4後	2					1	0			
	情報社会学	2後	2						1			
	生活誌の人類学	3・4前	2			1						
	セルフプロデュース論	2・3・4前	2			1						
	家族と法	2・3・4後	2				1					
	地域社会と法	3・4前	2				1					
	地理学	2・3前	2									兼1
	地誌学	2・3前	2									兼1
	自然地理学	2・3前	2									兼1
	地域コミュニティ論	3・4後	2				1					
	観光まちづくり論	2後	2			1						
ひとまちづくり論	2後	2			1							
都市デザイン論	3・4前	2			1							
関連科目	デジタルプレゼンテーション	1前	2									兼1
	データ表現技法	1後	2									兼1
	社会調査法1	2・3・4前	2									兼1
	社会調査法2	2・3・4後	2									兼1
	データ分析	2・3・4後	2									兼1
	現代社会調査	2・3・4後	2					1	1			
	留学&インターン	国際理解1	1・2・3・4前・後	2			1					
	国際理解2	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解3	1・2・3・4前・後	2			1						
	国際理解4	1・2・3・4前・後	2			1						
	中長期インターンシップ1	2・3・4前・後	2			1						
	中長期インターンシップ2	2・3・4前・後	2			1						
演習科目	専門基礎演習	2通	4			9	6	3				
	現代社会演習1	3通	4			9	6	3				
	現代社会演習2	4通	4			9	6	3				
	卒業研究	4通	4			9	6	3				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
キリスト教	キリスト教概説	1前	2									兼1
	キリスト教	1後	2									兼1
	キリスト教と文学	2・3・4前		2								兼1
	キリスト教と文化	2・3・4後		2								兼1
	キリスト教倫理	2・3・4前		2								兼2
キリスト教史	1・2・3・4後		2								兼1	
自己理解と自己開発	基礎セミナー	1前	2			8	6	3				
	発展セミナー	1後	2									兼1
	キャリアデザイン1a	1前	2			1	0					兼1
	キャリアデザイン1b	1後	2			1	0					兼1
	キャリアデザイン2a	2前	2			1						兼2
	キャリアデザイン2b	2後	2			1						兼2
	キャリアデザイン3a	3前	2			1						兼0
	キャリアデザイン3b	3後	2			1						兼0
	ボランティア学	1・2・3・4前	2			1						兼1
	ボランティア演習	1・2・3・4後	2			1	1					兼2
インターンシップ1	1・2・3・4前・後	2									兼3	
インターンシップ2	1・2・3・4前・後	2									兼3	
人間理解	哲学	1・2・3・4前	2									兼1
	哲学史	1・2・3・4後	2									兼1
	日本文学	1・2・3・4前	2									兼1
	日本文学史	1・2・3・4後	2									兼1
	心理学概論	1・2・3・4前・後	2									兼1
	文明論	1・2・3・4後	2			1						
	宗教と人間	1・2・3・4前	2									兼1
	聖書と人間	1・2・3・4前	2									兼2
	キリスト教人間学	2・3・4前	2									兼1
	死生学	1・2・3・4前	2					0				兼1
	臨床心理学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	宗教社会学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	比較宗教学	1・2・3・4後	2									兼1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後	2									兼1
	現代社会と法律	1・2・3・4前・後	2									兼1
	現代社会と経済	1・2・3・4前・後	2									兼1
企業と社会	1・2・3・4前・後	2									兼1	
国際関係論入門	1・2・3・4後	2									兼1	
国際政治学	1・2・3・4前	2									兼1	
国際社会問題	1・2・3・4前・後	2									兼1	
現代社会と教育	1・2・3・4後	2									兼1	
平和学入門	1・2・3・4前・後	2									兼1	
人権と社会	1・2・3・4前	2									兼1	
社会理解	数学	1・2・3・4前	2									兼1
	数理科学	1・2・3・4後	2									兼1
	基礎統計学	1・2・3・4前	2									兼1
	実用統計学(未開講)	1・2・3・4後	2									兼0
	化学	1・2・3・4前	2									兼1
	生物学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	地球科学概論	1・2・3・4前	2									兼1
	地球物理学概論	1・2・3・4後	2									兼1
	人類学	1・2・3・4前	2			0						兼1
	物理学	1・2・3・4後	2									兼1
生命倫理	1・2・3・4後	2									兼1	
社会的教養	日本史	1・2・3・4前	2									兼2
	日本思想史	1・2・3・4前・後	2									兼1
	中国文化入門	1・2・3・4前	2									兼1
	英米文化入門	1・2・3・4後	2									兼1
	文化人類学入門	1・2・3・4後	2			1						兼1
	世界の近現代史	1・2・3・4前・後	2									兼1
	世界史	1・2・3・4前・後	2									兼1
	考古学入門	1・2・3・4後	2									兼1
	陶芸論	1・2・3・4前	2									兼1
	陶芸演習	1・2・3・4後	2									兼1
自然理解	環境科学(未開講)	1・2・3・4前	2									兼0
	生態学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	地球環境学	1・2・3・4前	2									兼1
歴史文化理解	環境科学(未開講)	1・2・3・4前	2									兼0
	生態学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	地球環境学	1・2・3・4前	2									兼1
	環境科学(未開講)	1・2・3・4前	2									兼0
	生態学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	地球環境学	1・2・3・4前	2									兼1
	環境科学(未開講)	1・2・3・4前	2									兼0
	生態学	1・2・3・4前・後	2									兼1
	地球環境学	1・2・3・4前	2									兼1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
N G U 教 養 ス タ ン ダ ー ド 科 目	社会的 身体理解	健康の科学	1・2・3・4前・後	2								兼1
		スポーツの科学	1・2・3・4後	2								兼1
		スポーツ初級A	1・2・3・4前・後	1								兼5
		スポーツ初級B	1・2・3・4後	1								兼5
		スポーツ中級A	2・3・4前・後	1								兼5
		スポーツ中級B	2・3・4後	1								兼5
		スポーツ上級A	3・4後	1								兼1
		スポーツ上級B	3・4後	1								兼1
	地域理解	地域商業まちづくり学	1・2・3・4前	2		2						兼1
		歴史観光まちづくり学	1・2・3・4前・後	2								兼1
		減災福祉まちづくり学	1・2・3・4前・後	2		0						兼1
		地域商業まちづくり演習	1・2・3・4後	2		1						
		歴史観光まちづくり演習	1・2・3・4後	2								兼1
		減災福祉まちづくり演習	1・2・3・4後	2		0						兼1
		上級まちづくり演習	2・3・4前・後	2		1						兼2
		言語とコミュニケーション	日本語表現	1前・後	2							
	日本語表現上級		1前・後	2								兼3
	基礎英語1		1前	1								兼5
	基礎英語2		1後	1								兼5
	英会話1		1前	1								兼6
英会話2	1後		1								兼6	
実用英語演習1	2前		1								兼2	
実用英語演習2	2後		1								兼2	
情報英語演習1	2前		1								兼2	
情報英語演習2	2後		1								兼2	
TOEIC英語演習1	2前		1								兼1	
TOEIC英語演習2	2後		1								兼1	
情報	ドイツ語1	2前	1								兼1	
	ドイツ語2	2後	1								兼1	
	フランス語1	2前	1								兼1	
	フランス語2	2後	1								兼1	
	スペイン語1	2前	1								兼1	
	スペイン語2	2後	1								兼1	
	中国語1	2前	1								兼3	
	中国語2	2後	1								兼3	
	韓国語1	2前	1								兼1	
	韓国語2	2後	1								兼1	
教職	手話入門	1後	1								兼1	
	手話基礎	1後	1								兼1	
	情報処理基礎	1前	2								兼1	
	情報概論	2後	2								兼1	
	教職論	1前	2				1				兼0	
	教育原理	1前	2								兼1	
	教育心理学概論1	1前	2								兼1	
	教育心理学概論2	1後	2								兼1	
	教育制度論	1後	2								兼1	
	特別活動論	2後	2								兼1	
専門基礎科目	教育の方法と技術	2後	2								兼1	
	道徳教育論	2前	2								兼1	
	生徒・進路指導論	2前	2								兼1	
	教育相談	2前	2								兼1	
	社会学入門	1前	2			1						
	現代社会入門	1前	2			3	3	0				
	社会リサーチ入門	1後	2			2	1	1				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹科目	社会学理論	2前	2			1						
	社会学史	2後	2									兼1
	地域社会学	2後	2			1						
	産業社会学	2後	2			1						
	家族社会学	2後	2				1	0				
	社会心理学	2後	2				1					
	文化人類学	2前	2			1						
	社会政策論(未開講)	2前	2			0						
	経済社会学	2前	2				1					
	現代経済分析	2前	2			1						
	経済政策論	2後	2			1						
	現代産業論	2後	2			1						
	日本経済入門	2前	2			1						
	民法入門	2後	2				1					
	名古屋都市論	2後	2			1						
プロジェクト演習A	2・3前・後	2			3	4	2					
プロジェクト演習B	2・3通	4			3	4	2					
人間社会と心理	コミュニケーション論	2後	2			1						
	メディア論	2前	2					1				
	人間発達の経済学	3・4前	2			1						
	労働社会学	3・4後	2			0						兼1
	経済社会と倫理	3・4前	2									兼1
	福祉社会学	2後	2					1				
	現代社会と人間	2後	2			1						
	ジェンダー論	2前	2									兼1
	ヒューマンサービス論	3・4前	2					1				
	産業・組織心理学	2後	2				1					
	集団行動の心理学	3・4前	2				1					
	キャリアと人間発達	2・3・4後	2				1	0				
	カウンセリング論	2・3・4前	2				1	0				
社会問題と心理	3・4後	2				1						
展 開 科 目	現代経済学	2前	2									兼1
	統計学	2・3・4前	2									兼1
	金融論	2後	2									兼1
	国際経済学	3・4後	2									兼1
	日本経済論	2後	2			1						
	日本史概説	1・2前	2									兼1
	外国史概説	1・2前	2									兼1
	日本経済史	3・4前	2			1						
	現代企業史	3・4後	2			1						
	企業経済論	3・4前	2									兼2
	地域経済論	3・4後	2			1						
	ものづくり経済論	3・4前	2			1						
	起業経営論	3・4後	2									兼1
	社会的企業論	3・4前	2			1						
	企業研究1	2・3・4後	2			2						兼1
	企業研究2(未開講)	2・3・4後	2			2						兼1
	労働経済学	3・4前	2									兼1
環境経済論	2後	2									兼1	
社会制度と政策	財政学	2前	2									兼1
	政治学1	2前	2									兼1
	政治学2	2後	2									兼1
	行政学	3・4後	2									兼1
	公共経営論(未開講)	3・4後	2									兼0
	都市政策論	2前	2			1						
	文化政策論	2後	2			1						
	行政法	3・4後	2									兼1
	共生社会と法	2・3・4前	2				1					
	社会生活と法1	2・3・4前	2				1					
	社会生活と法2	2・3・4後	2				1					
	商法	3・4前	2									兼1
	会社法	3・4前	2									兼1
	国際法1	2・3・4前	2									兼1
	国際法2	2・3・4後	2									兼1
国際政治	3・4前	2									兼1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	社会保障論	2後		2		1						
	環境社会学	3・4前		2		1						
	ライフコース論	3・4前		2			1	0				
	情報社会学	2後		2					1			
	生活誌の人類学	3・4前		2		1						
	セルフプロデュース論	2・3・4前		2		1						
	家族と法	2・3・4後		2			1					
	地域社会と法	3・4前		2			1					
	地理学	2・3前		2								兼1
	地誌学	2・3前		2								兼1
	自然地理学	2・3前		2								兼1
	地域コミュニティ論	3・4後		2			1					
	観光まちづくり論	2前		2		1						
ひとまちづくり論	2後		2		1							
都市デザイン論	3・4前		2		1							
関連科目	デジタルプレゼンテーション	1前		2								兼1
	データ表現技法	1後		2								兼1
	社会調査法1	2・3・4前		2								兼1
	社会調査法2	2・3・4後		2								兼1
	データ分析	2・3・4後		2								兼1
	現代社会調査	2・3・4後		2			1	1				
	留学&インターン	国際理解1	1・2・3・4前・後		2		1					
	国際理解2	1・2・3・4前・後		2		1						
	国際理解3	1・2・3・4前・後		2		1						
	国際理解4	1・2・3・4前・後		2		1						
中長期インターンシップ1	2・3・4前・後		2		0	1						
中長期インターンシップ2	2・3・4前・後		2		0	1						
演習科目	専門基礎演習	2通	4			8	6	3				
	現代社会演習1	3通	4			8	6	3				
	現代社会演習2	4通	4			8	6	3				
	卒業研究	4通	4			8	6	3				

- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・「基礎セミナー」国原講師を採用し、担当教員に追加
- ・「ボランティア学」教育効果を考慮し、兼任教員1名を追加
- ・「ボランティア演習」教育効果を考慮し、専任講師2名(玉川、山下)を追加
- ・「宗教と人間」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「聖書と人間」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を1名から2名に増加
- ・「死生学」教学上の理由により、専任講師1名、兼任・兼任教員2名から兼任教員1名に担当変更
- ・「宗教社会学」教育効果を考慮し、兼任教員を1名から2名に増加
- ・「国際社会問題」教育効果を考慮し、兼任教員1名を追加し担当者2名とした
- ・「人権と社会」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「生命倫理」教学上の理由により、兼任教員1名が担当を外れ、兼任教員1名に担当変更
- ・「スポーツ初級A」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を2名から4名に増加
- ・「スポーツ初級B」教学上の理由により、開講時期を変更。兼任・兼任教員を2名から4名に増加
- ・「地域商業まちづくり学」教学上の理由により、開講時期を変更。教育効果を考慮し、井澤教授及び兼任教員1名を担当者に追加
- ・「減災福祉まちづくり学」COC事業に伴い兼任教員を採用したため、井澤教授(専任)が担当から外れたが、教育上支障はない
- ・「減災福祉まちづくり演習」COC事業に伴い兼任教員を採用したため、井澤教授(専任)が担当から外れたが、教育上支障はない
- ・「基礎英語1」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を3名から5名に増加
- ・「基礎英語2」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を3名から5名に増加
- ・「英会話1」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を2名から6名に増加
- ・「英会話2」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を2名から6名に増加
- ・「手話入門」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「教職論」初等中等教育局教職員課免許係の指摘により、国原専任講師を採用。教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「教育原理」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「教育制度論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「日本史概説」初等中等教育局教職員課免許係の指摘により、関連科目(教職)から移動
- ・「外国史概説」初等中等教育局教職員課免許係の指摘により、関連科目(教職)から移動
- ・「地理学」初等中等教育局教職員課免許係の指摘により、関連科目(教職)から移動
- ・「地誌学」初等中等教育局教職員課免許係の指摘により、関連科目(教職)から移動
- ・「自然地理学」初等中等教育局教職員課免許係の指摘により、関連科目(教職)から移動
- ・「専門基礎演習」国原講師を採用し、担当教員に追加
- ・「現代社会演習1」国原講師を採用し、担当教員に追加
- ・「現代社会演習2」国原講師を採用し、担当教員に追加
- ・「卒業研究」国原講師を採用し、担当教員に追加

【平成28年度】

- ・「キリスト教倫理」教育効果を考慮し、杉本講師(兼任)を担当者として追加
- ・「基礎セミナー」安藤講師の准教授昇任、玉川講師の准教授昇任
- ・「キャリアデザイン1a」安藤講師の准教授昇任
- ・「キャリアデザイン1b」安藤講師の准教授昇任
- ・「キャリアデザイン2a」教育効果を考慮し、安藤准教授を担当者として追加
- ・「キャリアデザイン2b」教育効果を考慮し、安藤准教授を担当者として追加
- ・「ボランティア演習」玉川講師の准教授昇任、集中講義に変更
- ・「インターンシップ1」教育効果を考慮し、兼任教員を1名から3名に増加
- ・「インターンシップ2」教育効果を考慮し、兼任教員を1名から3名に増加
- ・「心理学概論」教学上の理由により、兼任教員1名の担当となるが教育上支障はない
- ・「日本史」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を1名から2名に増加
- ・「英米文化入門」集中開講に変更
- ・「陶芸演習」集中開講に変更
- ・「スポーツ中級A」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を2名から5名に増加
- ・「スポーツ中級B」教学上の理由により、開講時期を変更。教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を3名から5名に増加
- ・「上級まちづくり演習」教学上の理由により、井澤教授が担当を外れたが、水野教授及び兼任教員2名が担当するため教育上支障はない
- ・「特別活動論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「道徳教育論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「生徒・進路指導論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「現代社会入門」玉川講師の准教授昇任
- ・「社会リサーチ入門」玉川講師の准教授昇任
- ・「社会学史」集中科目に変更
- ・「家族社会学」玉川講師の准教授昇任
- ・「プロジェクト演習A」玉川講師の准教授昇任
- ・「プロジェクト演習B」玉川講師の准教授昇任
- ・「キャリアと人間発達」安藤講師の准教授昇任
- ・「カウンセリング論」安藤講師の准教授昇任
- ・「企業研究2」教育効果を考慮し、兼任教員1名を追加
- ・「都市政策論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「ライフコース論」玉川講師の准教授昇任
- ・「社会調査法1」集中科目に変更
- ・「社会調査法2」集中科目に変更
- ・「現代社会調査」玉川講師の准教授昇任。教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「専門基礎演習」安藤講師及び玉川講師の准教授昇任
- ・「現代社会演習1」安藤講師及び玉川講師の准教授昇任
- ・「現代社会演習2」安藤講師及び玉川講師の准教授昇任
- ・「卒業研究」安藤講師及び玉川講師の准教授昇任

【平成29年度】

- ・「基礎セミナー」小林教授が学長就任に伴い担当を外れたが、他の専任教員が担当するため教育上支障はない
- ・「キャリアデザイン3a」教育効果を考慮し、安藤准教授に担当者変更
- ・「キャリアデザイン3b」教育効果を考慮し、安藤准教授に担当者変更
- ・「ボランティア演習」教育効果を考慮し、兼任教員を1名から2名に増加
- ・「人類学」教学上の理由により、今村教授が担当を外れたが、兼任教員が担当するため教育上支障はない
- ・「スポーツの科学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「スポーツ初級A」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を5名に増加
- ・「スポーツ初級B」教育効果を考慮し、兼任・兼任教員を5名に増加
- ・「スポーツ上級A」教学上の理由により、開講時期を変更、集中開講に変更
- ・「スポーツ上級B」集中開講に変更
- ・「情報英語演習1」教育効果を考慮し、兼任教員を1名追加
- ・「情報英語演習2」教育効果を考慮し、兼任教員を1名追加
- ・「地域社会学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「人間発達の経済学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「労働社会学」小林教授の学長就任に伴い、後任として兼任教員が担当、集中開講に変更
- ・「経済社会と倫理」集中科目に変更
- ・「現代社会と人間」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「現代経済学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「国際経済学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「企業経済論」教育効果を考慮し、兼任教員を1名から2名に増加
- ・「起業経営論」教学上の理由により、集中開講に変更
- ・「企業研究1」教育効果を考慮し、兼任教員1名を追加。教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「行政学」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「会社法」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「ライフコース論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「セルフプロデュース論」教学上の理由により、集中開講に変更
- ・「観光まちづくり論」教学上の理由により、開講時期を変更
- ・「中長期インターンシップ1」小林教授の学長就任に伴い、榎澤准教授に担当者変更
- ・「中長期インターンシップ2」小林教授の学長就任に伴い、榎澤准教授に担当者変更
- ・「専門基礎演習」小林教授が学長就任に伴い科目の担当を外れたが、他の専任教員が担当するため教育上支障はない
- ・「現代社会演習1」小林教授が学長就任に伴い科目の担当を外れたが、他の専任教員が担当するため教育上支障はない
- ・「現代社会演習2」小林教授が学長就任に伴い科目の担当を外れたが、他の専任教員に移行予定であるため教育上支障はない
- ・「卒業研究」小林教授が学長就任に伴い科目の担当を外れたが、他の専任教員に移行予定であるため教育上支障はない

【平成30年度】

- 「基礎セミナー」教学上の理由により、専任教授4名、准教授5名で担当
- 「キャリアデザイン3b」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「ボランティア演習」教学上の理由により、玉川准教授(専任)及び山下講師(専任)が担当を外れたが、兼任教員2名が担当するため教育上支障はない
- 「文明論」教学上の理由により、今村教授(専任)が担当を外れたが、兼任教員が担当するため教育上支障はない。教学上の理由により、開講時期を変更
- 「聖書と人間」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「現代社会と経済」教育効果を考慮し、兼任教員を担当者として追加
- 「日本史」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「陶芸論」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「生態学」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「歴史観光まちづくり演習」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「減災福祉まちづくり演習」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「上級まちづくり演習」教学上の理由により、水野教授(専任)が担当を外れたが、兼任教員2名が担当するため教育上支障はない
- 「中国語1」「中国語2」教学上の理由により、兼任講師3名から2名に担当変更するが、教育上支障はない
- 「教職論」國原講師(専任)の准教授昇任
- 「現代社会入門」教学上の理由により、村上准教授(専任)の単独開講に変更
- 「マクロ経済学入門」教学上の理由により、村上准教授(専任)が担当を外れたが、兼任教員が担当するため教育上支障はない
- 「社会リサーチ入門」山下講師(専任)の准教授昇任
- 「プロジェクト演習A」履修者数に応じて、専任教授2名、准教授1名で担当
- 「プロジェクト演習B」履修者数に応じて、専任教授1名、准教授3名で担当
- 「メディア論」野尻講師(専任)の准教授昇任
- 「福祉社会論」山下講師(専任)の准教授昇任
- 「ヒューマンサービス論」山下講師(専任)の准教授昇任
- 「日本史概説」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「社会保障論」小林教授(専任)から村上准教授(専任)に担当者変更、開講時期変更
- 「情報社会論」野尻講師(専任)の准教授昇任
- 「地域コミュニティ論」教学上の理由により、開講時期を変更
- 「現代社会調査」教学上の理由により、山下准教授(専任)が担当を外れたが、玉川准教授(専任)が担当するため教育上支障はない
- 「専門基礎演習」教学上の理由により、専任教授7名、准教授6名で担当
- 「現代社会演習1」教学上の理由により、専任教授7名、准教授7名で担当
- 「現代社会演習2」教学上の理由により、専任教授8名、准教授6名で担当
- 「卒業研究」教学上の理由により、専任教授8名、准教授6名で担当

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	201 科目	0 科目	219 科目	18 科目 [0]	201 科目 [0]	0 科目 [0]	219 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	ボランティア学	2	1・2・3・4	一般	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講予定。
2	実用統計学	2	1・2・3・4	一般	選択	担当者の後任補充ができないため未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
3	環境科学	2	1・2・3・4	一般	選択	担当者の後任補充ができないため未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
4	起業経営論	2	3・4	専門	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講予定。
5	企業研究1	2	2・3・4	専門	選択	教学上の理由により未開講。代替措置なし。次年度開講予定。
6	商法	2	3・4	専門	選択	担当者の後任補充ができないため未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。
7	会社法	2	3・4	専門	選択	担当者の後任補充ができないため未開講。代替措置なし。次年度開講に向け調整。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記の未開講科目については次年度開講の予定で調整を進めており、学生に対しては履修登録システムにおいて周知をしている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{219} = \boxed{2.73} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他に校舎敷地とする 空地を含んでいたため訂 正した。また、その他に 法人所有地を含んでいた ため控除した。(27) 校舎敷地を取得した。 (28)		
	校 舎 敷 地	234,924.84 225,418.99 144,021.00 m ²	0 m ²	0 m ²	234,924.84 225,418.99 144,021.00 m ²			
	運 動 場 用 地	83,493.78 81,632.00 m ²	0 m ²	0 m ²	83,493.78 81,632.00 m ²			
	小 計	318,418.62 308,912.77 m ²	0 m ²	0 m ²	318,418.62 308,912.77 m ²			
	そ の 他	64,445.76 181,773.53 m ²	0 m ²	0 m ²	64,445.76 181,773.53 m ²			
	合 計	382,864.38 373,358.53 407,426.53 m ²	0 m ²	0 m ²	382,864.38 373,358.53 407,426.53 m ²			
(2) 校 舎	専 用	80,331.90m ² 74,094.01m ² 74,102.73m ² (74,094.01m ²) (74,102.73m ²)	0m ² (0m ²)	0m ² (0m ²)	計 80,331.90m ² 74,094.01m ² 74,102.73m ² (74,094.01m ²) (74,102.73m ²)	平成27年1月竣工の新校 舎の面積を、建築面積か ら登記上の面積に修正 した。(27) 平成30年9月竣工予定 の新校舎を予定数値に加 えた(29)		
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教 室 等	95室	82室	27室	6室 (補助職員 0人)	8室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任講師を1名補充した ため(27)		
	現代社会学部現代社会学科		18 17 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	平成27年度報告漏れのため、 2年分の変更を記載 (28)
	現代社会学部	201,902[55,232] (204,254[55,330]) (201,381[55,139]) (198,922[55,044]) (196,168[54,916]) (192,674[54,712])	2,107[651] (2,107[651])	210[199] (210[199])	2,105 (2,110) (2,043) (1,962) (1,894) (1,837)	1,612 (1612)	0 (0)	
	計	201,902[55,232] (204,254[55,330]) (201,381[55,139]) (198,922[55,044]) (196,168[54,916]) (192,674[54,712])	2,107[651] (2,107[651])	210[199] (210[199])	2,105 (2,110) (2,043) (1,962) (1,894) (1,837)	1,612 (1612)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		平成27年度報告漏れのため、 2年分の変更を記載。 平成27年度、平成28年度 ともに瀬戸図書館の席数 増加(28) 平成28年度瀬戸図書館の 席数増加(29)		
	5,907.13 m ²	906 869 857 778		550,000				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	6,711.52 m ²	野球場1面、屋内プール1面、テニスコート17面、ゴルフ練習場1面他						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	完成年度における個人研究 費の変更(29) 共同研究費は大学全体で 配分 共同研究費等の変更 (30)
		教員1人当り研究費等	680千円 680千円	図書購入費	6,662千円	6,662千円	6,662千円	
	共同研究費等	10,000千円 3,697千円	3,697千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、手数料収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	名古屋学院大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度		
経済学部									
経済学科	4	250	-	1,000	学士 (経済学)	1.18	昭和39	愛知県名古屋市熱田 区熱田西町1番25号	平成27年より 学生募集停止
総合政策学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	平成12	同上	
現代社会学部									
現代社会学科	4	150	-	600	学士 (現代社会)	1.01	平成27	同上	
商学部									
商学科	4	200	-	800	学士 (商学)	1.12	平成4	同上	
経営情報学科	4	95	-	395	学士 (商学)	1.14	平成15	同上	
法学部									
法学科	4	165	-	615	学士 (法学)	1.18	平成25	同上	
外国語学部									
英米語学科	4	140	-	560	学士 (文学)	1.12	平成元	同上	平成27年より 学生募集停止
中国コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成元	同上	
国際文化協力量科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成17	同上	
国際文化学部									
国際文化学科	4	100	-	400	学士 (国際文化)	1.12	平成27	同上	
国際協力量科	4	50	-	200	学士 (国際文化)	0.80	平成27	同上	
スポーツ健康学部									
スポーツ健康学科	4	120	-	480	学士 (スポーツ 健康)	1.19	平成22	愛知県瀬戸市上品野 町1350番地	
こどもスポーツ教育学科	4	50	-	200	学士 (こどもス ポーツ教 育)	0.57	平成27	同上	
リハビリテーション学部									
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	平成22	同上	

大学の名称	名古屋学院大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
経済経営研究科								
経済学専攻 修士課程	2	7	-	14	修士 (経済学)	0.63	平成9	愛知県名古屋市熱田 区大宝三丁目1番17号
経営政策専攻 博士前期課程	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.57	平成9	同上
経営政策専攻 博士後期課程	3	5	-	15	博士 (経営学)	0.20	平成11	同上
外国語学研究科								
英語学専攻 修士課程	2	7	-	14	修士 (英語学)	0.21	平成9	同上
国際文化協力学科専攻 修士課程	2	5	-	10	修士 (国際文化 協力)	0.30	平成21	同上
英語学専攻 博士前期課程 (通信教育課程)	2	20	-	40	修士 (英語学)	1.07	平成13	同上
英語学専攻 博士後期課程 (通信教育課程)	3	3	-	9	博士 (英語学)	0.55	平成20	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代社会学部 現代社会学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学部長)	小林 甲一 (56) <平成27年4月>	専	教授 (学部長)	小林 甲一 (56) <平成27年4月>	専	教授 (学部長)	小林 甲一 (57) <平成27年4月>	専	教授 (学長)	小林 甲一 (58) <平成29年4月>	専	教授 (学長)	小林 甲一 (59) <平成29年4月>
		基礎セミナー 現代社会入門 ※ 社会政策論 労働社会学 社会保障論 国際理解1 国際理解2 国際理解3 国際理解4 中長期インターンシップ1 中長期インターンシップ2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代社会入門 ※ 社会政策論 労働社会学 社会保障論 国際理解1 国際理解2 国際理解3 国際理解4 中長期インターンシップ1 中長期インターンシップ2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代社会入門 ※ 社会政策論 労働社会学 社会保障論 国際理解1 国際理解2 国際理解3 国際理解4 中長期インターンシップ1 中長期インターンシップ2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			現代社会入門 ※ 社会保障論 社会政策論			社会政策論
専	教授	早川 洋行 (54) <平成27年4月>	専	教授	早川 洋行 (54) <平成27年4月>	専	教授	早川 洋行 (55) <平成27年4月>	専	教授	早川 洋行 (56) <平成27年4月>	専	教授	早川 洋行 (57) <平成27年4月>
		基礎セミナー 社会学入門 社会学理論 コミュニケーション論 環境社会学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会学入門 社会学理論 コミュニケーション論 環境社会学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会学入門 社会学理論 コミュニケーション論 環境社会学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会学入門 社会学理論 コミュニケーション論 環境社会学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会学入門 社会学理論 コミュニケーション論 環境社会学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究
専	教授	笠井 雅直 (62) <平成27年4月>	専	教授	笠井 雅直 (62) <平成27年4月>	専	教授	笠井 雅直 (63) <平成27年4月>	専	教授	笠井 雅直 (64) <平成27年4月>	専	教授	笠井 雅直 (65) <平成27年4月>
		基礎セミナー 日本経済入門 日本経済論 日本経済史 現代企業史 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 日本経済入門 日本経済論 日本経済史 現代企業史 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 日本経済入門 日本経済論 日本経済史 現代企業史 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 日本経済入門 日本経済論 日本経済史 現代企業史 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 日本経済入門 日本経済論 日本経済史 現代企業史 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究
専	教授	古池 嘉和 (55) <平成27年4月>	専	教授	古池 嘉和 (55) <平成27年4月>	専	教授	古池 嘉和 (56) <平成27年4月>	専	教授	古池 嘉和 (57) <平成27年4月>	専	教授	古池 嘉和 (58) <平成27年4月>
		基礎セミナー 現代社会入門 ※ 地域政策入門 地域社会学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 文化政策論 観光まちづくり論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代社会入門 ※ 地域政策入門 地域社会学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 文化政策論 観光まちづくり論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代社会入門 ※ 地域政策入門 地域社会学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 文化政策論 観光まちづくり論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代社会入門 ※ 地域政策入門 地域社会学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 文化政策論 観光まちづくり論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			地域政策入門 地域社会学 プロジェクト演習A 文化政策論 観光まちづくり論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	水野 晶夫 (52) <平成27年4月>	専	教授	水野 晶夫 (52) <平成27年4月>	専	教授	水野 晶夫 (53) <平成27年4月>	専	教授	水野 晶夫 (54) <平成27年4月>	専	教授	水野 晶夫 (55) <平成27年4月>
		基礎セミナー ボランティア学 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習 地域政策入門 経済政策論 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 社会的企業論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー ボランティア学 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習 地域政策入門 経済政策論 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 社会的企業論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー ボランティア学 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習 地域政策入門 経済政策論 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 社会的企業論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー ボランティア学 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習 地域政策入門 経済政策論 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 社会的企業論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー ボランティア学 地域商業まちづくり学 地域商業まちづくり演習 上級まちづくり演習 地域政策入門 経済政策論 プロジェクト演習B 社会的企業論 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究
専	教授	江口 忍 (49) <平成27年4月>	専	教授	江口 忍 (49) <平成27年4月>	専	教授	江口 忍 (50) <平成27年4月>	専	教授	江口 忍 (51) <平成27年4月>	専	教授	江口 忍 (52) <平成27年4月>
		基礎セミナー 現代経済分析 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 地域経済論 セルフプロデュース論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代経済分析 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 地域経済論 セルフプロデュース論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代経済分析 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 地域経済論 セルフプロデュース論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 現代経済分析 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 地域経済論 セルフプロデュース論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			地域経済論 セルフプロデュース論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究
専	教授	十名 直喜 (66) <平成27年4月>	専	教授	十名 直喜 (66) <平成27年4月>	専	教授	十名 直喜 (67) <平成27年4月>	専	教授	十名 直喜 (68) <平成27年4月>	専	教授	十名 直喜 (69) <平成27年4月>
		基礎セミナー 産業社会学 現代産業論 人間発達の経済学 ものづくり経済論 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 産業社会学 現代産業論 人間発達の経済学 ものづくり経済論 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 産業社会学 現代産業論 人間発達の経済学 ものづくり経済論 企業研究1 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 産業社会学 現代産業論 人間発達の経済学 ものづくり経済論 企業研究1 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			産業社会学 現代産業論 人間発達の経済学 ものづくり経済論 企業研究2 専門基礎演習 現代社会演習2 卒業研究
専	教授	井澤 知旦 (62) <平成27年4月>	専	教授	井澤 知旦 (62) <平成27年4月>	専	教授	井澤 知旦 (63) <平成27年4月>	専	教授 (学部長)	井澤 知旦 (64) <平成29年4月>	専	教授 (学部長)	井澤 知旦 (65) <平成29年4月>
		基礎セミナー 減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習 上級まちづくり演習 現代社会入門 ※ 名古屋都市論 都市政策論 ひとまちづくり論 都市デザイン論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 地域商業まちづくり学 上級まちづくり演習 現代社会入門 ※ 名古屋都市論 都市政策論 ひとまちづくり論 都市デザイン論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 地域商業まちづくり学 現代社会入門 ※ 名古屋都市論 都市政策論 ひとまちづくり論 都市デザイン論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 地域商業まちづくり学 現代社会入門 ※ 名古屋都市論 都市政策論 ひとまちづくり論 都市デザイン論 国際理解1 国際理解2 国際理解3 国際理解4 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 地域商業まちづくり学 名古屋都市論 都市政策論 ひとまちづくり論 都市デザイン論 国際理解1 国際理解2 国際理解3 国際理解4 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	今村 薫 (54) <平成27年4月>	専	教授	今村 薫 (54) <平成27年4月>	専	教授	今村 薫 (55) <平成27年4月>	専	教授	今村 薫 (56) <平成27年4月>	専	教授	今村 薫 (57) <平成27年4月>
		基礎セミナー 文明論 人類学 文化人類学入門 文化人類学 現代社会と人間 生活誌の人類学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 文明論 人類学 文化人類学入門 文化人類学 現代社会と人間 生活誌の人類学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 文明論 人類学 文化人類学入門 文化人類学 現代社会と人間 生活誌の人類学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 文明論 人類学 文化人類学入門 文化人類学 現代社会と人間 生活誌の人類学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			文化人類学入門 文化人類学 現代社会と人間 生活誌の人類学 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究
専	准教授	村上 寿来 (44) <平成27年4月>	専	准教授	村上 寿来 (44) <平成27年4月>	専	准教授	村上 寿来 (45) <平成27年4月>	専	准教授	村上 寿来 (46) <平成27年4月>	専	准教授	村上 寿来 (47) <平成27年4月>
		基礎セミナー 現代社会入門 ※ ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 経済社会学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 地域コミュニティ論 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			現代社会入門 ※ ミクロ経済学入門 経済社会学 社会保障論 地域コミュニティ論									
専	准教授	榎澤 幸広 (42) <平成27年4月>	専	准教授	榎澤 幸広 (42) <平成27年4月>	専	准教授	榎澤 幸広 (43) <平成27年4月>	専	准教授	榎澤 幸広 (44) <平成27年4月>	専	准教授	榎澤 幸広 (45) <平成27年4月>
		基礎セミナー 現代社会入門 ※ 法学入門 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 共生社会と法 地域社会と法 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			法学入門 共生社会と法 地域社会と法 中長期インターンシップ1 中長期インターンシップ2 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究									
専	准教授	川村(瀧本) 隆子 (44) <平成27年4月>	専	准教授	川村(瀧本) 隆子 (44) <平成27年4月>	専	准教授	川村(瀧本) 隆子 (45) <平成27年4月>	専	准教授	川村(瀧本) 隆子 (46) <平成27年4月>	専	准教授	川村(瀧本) 隆子 (47) <平成27年4月>
		基礎セミナー 民法入門 社会生活と法1 社会生活と法2 家族と法 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 民法入門 社会生活と法1 社会生活と法2 家族と法 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 民法入門 社会生活と法1 社会生活と法2 家族と法 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 民法入門 社会生活と法1 社会生活と法2 家族と法 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			民法入門 社会生活と法1 社会生活と法2 家族と法 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究
専	准教授	中島 誠 (34) <平成27年4月>	専	准教授	中島 誠 (34) <平成27年4月>	専	准教授	中島 誠 (35) <平成27年4月>	専	准教授	中島 誠 (36) <平成27年4月>	専	准教授	中島 誠 (37) <平成27年4月>
		基礎セミナー 社会心理学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 産業・組織心理学 集団行動の心理学 社会問題と心理 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会心理学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 産業・組織心理学 集団行動の心理学 社会問題と心理 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会心理学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 産業・組織心理学 集団行動の心理学 社会問題と心理 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会心理学 プロジェクト演習A プロジェクト演習B 産業・組織心理学 集団行動の心理学 社会問題と心理 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究			基礎セミナー 社会心理学 産業・組織心理学 集団行動の心理学 社会問題と心理 専門基礎演習 現代社会演習1 現代社会演習2 卒業研究

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	城 哲也 (58) <平成28年4月> 実用英語演習1 実用英語演習2	兼任	教授	城 哲也 (58) <平成28年4月> 実用英語演習1 実用英語演習2	兼任	教授	城 哲也 (58) <平成28年4月> 実用英語演習1 実用英語演習2	兼任	教授	城 哲也 (59) <平成28年4月> 実用英語演習1 実用英語演習2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	教授	城 哲也 (60) <平成28年4月> 情報英語演習1 情報英語演習2 英会話1 英会話2
兼任	教授	程 鶴 (52) <平成27年4月> 情報処理基礎 情報概論	兼任	教授	程 鶴 (52) <平成27年4月> 情報処理基礎 情報概論	兼任	教授	程 鶴 (53) <平成27年4月> 情報処理基礎 情報概論	兼任	教授	程 鶴 (54) <平成27年4月> 情報処理基礎 情報概論	兼任	教授	程 鶴 (55) <平成27年4月> 情報処理基礎 情報概論
兼任	教授	大石 邦弘 (53) <平成29年4月> 企業経済論	兼任	教授	大石 邦弘 (53) <平成29年4月> 企業経済論	兼任	教授	大石 邦弘 (53) <平成29年4月> 企業経済論	兼任	教授	大石 邦弘 (53) <平成29年4月> 企業経済論	兼任	教授	大石 邦弘 (53) <平成29年4月> 企業経済論
兼任	教授	水田 健一 (65) <平成28年4月> 財政学	兼任	教授	水田 健一 (65) <平成28年4月> 財政学	兼任	教授	水田 健一 (65) <平成28年4月> 財政学	兼任	教授	水田 健一 (66) <平成28年4月> 財政学	兼任	教授	水田 健一 (67) <平成28年4月> 財政学
兼任	教授	児島 完二 (50) <平成27年4月> デジタルプレゼンテー ション データ表現技法 データ分析	兼任	教授	児島 完二 (50) <平成27年4月> デジタルプレゼンテー ション データ表現技法 データ分析	兼任	教授	児島 完二 (51) <平成27年4月> デジタルプレゼンテー ション データ表現技法 データ分析	兼任	教授	児島 完二 (52) <平成27年4月> デジタルプレゼンテー ション データ表現技法 データ分析	兼任	教授	児島 完二 (53) <平成27年4月> デジタルプレゼンテー ション データ表現技法 データ分析
兼任	教授	名城 邦夫 (67) <平成27年4月> 外国史概説	兼任	教授	名城 邦夫 (67) <平成27年4月> 外国史概説	兼任	教授	名城 邦夫 (68) <平成27年4月> 外国史概説 企業研究2	兼任	教授	名城 邦夫 (69) <平成27年4月> 外国史概説 企業研究1	兼任	講師	名城 邦夫 (70) <平成30年4月> 外国史概説
兼任	准教授	松本 浩司 (35) <平成27年4月> 発展セミナー	兼任	准教授	松本 浩司 (35) <平成27年4月> 現代社会と教育	兼任	准教授	松本 浩司 (36) <平成27年4月> 発展セミナー 現代社会と教育	兼任	准教授	松本 浩司 (37) <平成27年4月> 発展セミナー 現代社会と教育	兼任	准教授	松本 浩司 (38) <平成27年4月> 発展セミナー 現代社会と教育
兼任	准教授	大宮 有博 (45) <平成27年4月> ボランティア演習 死生学※ 人権と社会 生命倫理※ 道徳教育論	兼任	准教授	大宮 有博 (45) <平成27年4月> ボランティア演習 道徳教育論 ボランティア学 聖書と人間	兼任	准教授	大宮 有博 (45) <平成27年4月> ボランティア演習	兼任	准教授	大宮 有博 (45) <平成27年4月> ボランティア演習	兼任	准教授	大宮 有博 (45) <平成27年4月> ボランティア演習
兼任	准教授	金 愛慶 (46) <平成27年4月> 臨床心理学	兼任	准教授	金 愛慶 (46) <平成27年4月> 臨床心理学	兼任	教授	金 愛慶 (47) <平成28年4月> 臨床心理学	兼任	教授	金 愛慶 (48) <平成28年4月> 臨床心理学	兼任	教授	金 愛慶 (49) <平成28年4月> 臨床心理学
兼任	准教授	飯島 滋明 (45) <平成27年4月> 平和学入門 行政法	兼任	准教授	飯島 滋明 (45) <平成27年4月> 平和学入門 行政法	兼任	教授	飯島 滋明 (46) <平成28年4月> 平和学入門 行政法	兼任	教授	飯島 滋明 (47) <平成28年4月> 平和学入門 行政法	兼任	教授	飯島 滋明 (48) <平成28年4月> 平和学入門 行政法
兼任	准教授	伊藤 隆 (48) <平成27年4月> 基礎英語1 基礎英語2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	准教授	伊藤 隆 (48) <平成27年4月> 基礎英語1 基礎英語2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	准教授	伊藤 隆 (49) <平成27年4月> 基礎英語1 基礎英語2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	准教授	伊藤 隆 (49) <平成27年4月> 基礎英語1 基礎英語2 情報英語演習1 情報英語演習2	兼任	准教授	伊藤 隆 (49) <平成27年4月> 基礎英語1 基礎英語2 情報英語演習1 情報英語演習2
兼任	准教授	秋山 太郎 (35) <平成28年4月> 現代経済学	兼任	准教授	秋山 太郎 (35) <平成28年4月> 現代経済学	兼任	准教授	秋山 太郎 (35) <平成28年4月> 現代経済学	兼任	准教授	秋山 太郎 (36) <平成28年4月> 現代経済学	兼任	准教授	秋山 太郎 (37) <平成28年4月> 現代経済学 企業経済論
兼任	准教授	上山 仁恵 (44) <平成28年4月> 統計学	兼任	准教授	上山 仁恵 (44) <平成28年4月> 統計学	兼任	准教授	上山 仁恵 (44) <平成28年4月> 統計学	兼任	准教授	上山 仁恵 (45) <平成28年4月> 統計学 企業経済論	兼任	准教授	上山 仁恵 (46) <平成28年4月> 統計学 企業経済論
兼任	准教授	小林(田中) 礼実 (49) <平成28年4月> 金融論	兼任	准教授	小林(田中) 礼実 (49) <平成28年4月> 金融論	兼任	准教授	小林(田中) 礼実 (49) <平成28年4月> 金融論	兼任	准教授	小林(田中) 礼実 (50) <平成28年4月> 金融論	兼任	准教授	小林(田中) 礼実 (51) <平成28年4月> 金融論
兼任	准教授	菅原 晃樹 (36) <平成29年4月> 労働経済学	兼任	准教授	菅原 晃樹 (36) <平成29年4月> 労働経済学	兼任	准教授	菅原 晃樹 (36) <平成29年4月> 労働経済学	兼任	准教授	菅原 晃樹 (36) <平成29年4月> 労働経済学	兼任	准教授	菅原 晃樹 (37) <平成29年4月> 労働経済学
兼任	准教授	佐々木 健吾 (36) <平成28年4月> 環境経済論	兼任	准教授	佐々木 健吾 (36) <平成28年4月> 環境経済論	兼任	准教授	佐々木 健吾 (36) <平成28年4月> 環境経済論	兼任	准教授	佐々木 健吾 (37) <平成28年4月> 環境経済論	兼任	准教授	佐々木 健吾 (38) <平成28年4月> 環境経済論

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)												
		<就任(予定)年月>												
		担当授業科目名												
兼任	准教授	藤井 信秀 (69) <平成29年4月>												
		商法 会社法			商法 会社法			商法 会社法			商法 会社法			
兼任	准教授	鈴木 隆 (42) <平成29年4月>	兼任	准教授	鈴木 隆 (42) <平成29年4月>	兼任	准教授	鈴木 隆 (42) <平成29年4月>	兼任	教授	鈴木 隆 (43) <平成29年4月>	兼任	教授	鈴木 隆 (43) <平成29年4月>
		国際政治												
兼任	講師	江利川 良枝 (52) <平成27年4月>	兼任	講師	江利川 良枝 (52) <平成27年4月>	兼任	講師	江利川 良枝 (53) <平成27年4月>	兼任	講師	江利川 良枝 (54) <平成27年4月>	兼任	講師	江利川 良枝 (55) <平成27年4月>
		キャリアデザイン1a キャリアデザイン1b キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b												
兼任	講師	宮坂 清 (43) <平成27年4月>	兼任	講師	宮坂 清 (43) <平成27年4月>	兼任	講師	宮坂 清 (44) <平成27年4月>	兼任	准教授	宮坂 清 (45) <平成29年4月>	兼任	准教授	宮坂 清 (46) <平成29年4月>
		宗教社会学 文化人類学入門												
兼任	講師	齊藤 久美子 (36) <平成27年4月>	兼任	講師	齊藤 久美子 (36) <平成27年4月>	兼任	講師	齊藤 久美子 (37) <平成27年4月>	兼任	准教授	齊藤 久美子 (38) <平成29年4月>	兼任	准教授	齊藤 久美子 (39) <平成29年4月>
		生物学												
兼任	講師	小林 記之 (38) <平成27年4月>	兼任	講師	小林 記之 (38) <平成27年4月>	兼任	准教授	小林 記之 (39) <平成28年4月>	兼任	准教授	小林 記之 (40) <平成28年4月>			
		地球科学概論 地球物理学概論 物理学 地球環境学 自然地理学			地球科学概論 地球物理学概論 物理学 地球環境学 自然地理学			地球科学概論 地球物理学概論 物理学 地球環境学 自然地理学			地球科学概論 地球物理学概論 物理学 地球環境学 自然地理学			
兼任	講師	吉田 達矢 (40) <平成27年4月>	兼任	講師	吉田 達矢 (40) <平成27年4月>	兼任	講師	吉田 達矢 (41) <平成27年4月>	兼任	講師	吉田 達矢 (42) <平成27年4月>	兼任	講師	吉田 達矢 (43) <平成27年4月>
		世界の近現代史 世界史												
兼任	講師	伊藤 幹 (31) <平成27年4月>	兼任	講師	伊藤 幹 (31) <平成27年4月>	兼任	講師	伊藤 幹 (32) <平成27年4月>	兼任	講師	伊藤 幹 (33) <平成27年4月>	兼任	准教授	伊藤 幹 (34) <平成30年4月>
		健康の科学 スポーツの科学 スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B スポーツ上級A スポーツ上級B												
兼任	講師	田中 智麻 (41) <平成27年4月>	兼任	講師	田中 智麻 (41) <平成27年4月>	兼任	講師	田中 智麻 (42) <平成27年4月>	兼任	講師	田中 智麻 (43) <平成27年4月>	兼任	講師	田中 智麻 (44) <平成27年4月>
		歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習			歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習			歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習 インターンシップ1 インターンシップ2			歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習 インターンシップ1 インターンシップ2			歴史観光まちづくり学 歴史観光まちづくり演習 上級まちづくり演習 インターンシップ1 インターンシップ2
兼任	講師	玉田 沙織 (34) <平成27年4月>	兼任	講師	濱野 寛子 (34) <平成27年4月>	兼任	講師	濱野 寛子 (35) <平成27年4月>	兼任	講師	濱野 寛子 (36) <平成27年4月>	兼任	講師	濱野 寛子 (37) <平成27年4月>
		日本語表現上級												
兼任	講師	川越 めぐみ (35) <平成27年4月>	兼任	講師	川越 めぐみ (35) <平成27年4月>	兼任	講師	川越 めぐみ (36) <平成27年4月>	兼任	講師	川崎 めぐみ (37) <平成29年4月>	兼任	講師	川崎 めぐみ (38) <平成29年4月>
		日本語表現上級												
兼任	講師	中山 麻美 (39) <平成27年4月>	兼任	講師	中山 麻美 (39) <平成27年4月>									
		基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2			基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2									
兼任	講師	有園 智美 (35) <平成27年4月>	兼任	講師	船井 純平 (40) <平成27年4月>									
		基礎英語1 基礎英語2 TOEIC英語演習1 TOEIC英語演習2			基礎英語1 基礎英語2 TOEIC英語演習1 TOEIC英語演習2									
兼任	講師	人見 泰弘 (35) <平成28年4月>	兼任	講師	人見 泰弘 (35) <平成28年4月>	兼任	講師	人見 泰弘 (35) <平成28年4月>	兼任	准教授	人見 泰弘 (36) <平成29年4月>	兼任	講師	人見 泰弘 (37) <平成29年4月>
		ジェンダー論												

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	北垣 剛 (46) <平成27年4月> キリスト教と文学 キリスト教史	兼任	講師	北垣 剛 (46) <平成27年4月> キリスト教と文学 キリスト教史	兼任	講師	北垣 剛 (47) <平成27年4月> キリスト教と文学 キリスト教史	兼任	講師	北垣 剛 (48) <平成27年4月> キリスト教と文学 キリスト教史	兼任	講師	北垣 剛 (49) <平成27年4月> キリスト教と文学 キリスト教史
兼任	講師	志村 真 (57) <平成27年4月> キリスト教と文化 宗教と人間 聖書と人間 比較宗教学	兼任	講師	志村 真 (57) <平成27年4月> キリスト教と文化									
兼任	講師	石田 聖実 (61) <平成28年4月> キリスト教倫理 キリスト教人間学	兼任	講師	石田 聖実 (61) <平成28年4月> キリスト教倫理 キリスト教人間学	兼任	講師	石田 聖実 (61) <平成28年4月> キリスト教倫理 キリスト教人間学	兼任	講師	石田 聖実 (62) <平成28年4月> キリスト教倫理	兼任	講師	石田 聖実 (63) <平成28年4月> キリスト教人間学 聖書と人間
兼任	講師	丹山 美香 (51) <平成28年4月> キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b	兼任	講師	丹山 美香 (51) <平成28年4月> キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b	兼任	講師	丹山 美香 (51) <平成28年4月> キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b	兼任	講師	丹山 美香 (52) <平成28年4月> キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b	兼任	講師	丹山 美香 (53) <平成28年4月> キャリアデザイン2a キャリアデザイン2b
兼任	講師	加藤 智宏 (53) <平成27年4月> 心理学概論	兼任	講師	加藤 智宏 (53) <平成27年4月> 心理学概論	兼任	講師	加藤 智宏 (54) <平成27年4月> 心理学概論	兼任	講師	加藤 智宏 (55) <平成27年4月> 心理学概論	兼任	講師	加藤 智宏 (56) <平成27年4月> 心理学概論
兼任	講師	亀井 美穂 (31) <平成27年4月> 死生学※ 生命倫理※	兼任	講師	亀井 美穂 (31) <平成27年4月> 生命倫理※									
兼任	講師	玉木 満 (45) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会と法律	兼任	講師	玉木 満 (45) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会と法律	兼任	講師	玉木 満 (46) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会と法律	兼任	講師	玉木 満 (47) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会と法律	兼任	講師	玉木 満 (48) <平成27年4月> 日本国憲法 現代社会と法律
兼任	講師	中原 聖乃 (49) <平成27年4月> 国際社会問題	兼任	講師	中原 聖乃 (49) <平成27年4月> 国際社会問題	兼任	講師	中原 聖乃 (50) <平成27年4月> 国際社会問題	兼任	講師	中原 聖乃 (51) <平成27年4月> 国際社会問題	兼任	講師	中原 聖乃 (52) <平成27年4月> 国際社会問題
兼任	講師	長 昌史 (42) <平成27年4月> 化学	兼任	講師	長 昌史 (42) <平成27年4月> 化学	兼任	講師	長 昌史 (43) <平成27年4月> 化学	兼任	講師	長 昌史 (44) <平成27年4月> 化学	兼任	講師	長 昌史 (45) <平成27年4月> 化学
兼任	講師	八木 三生 (66) <平成27年4月> 陶芸論 陶芸演習	兼任	講師	八木 三生 (66) <平成27年4月> 陶芸論 陶芸演習	兼任	講師	八木 三生 (67) <平成27年4月> 陶芸論 陶芸演習	兼任	講師	八木 三生 (68) <平成27年4月> 陶芸論 陶芸演習	兼任	講師	八木 三生 (69) <平成27年4月> 陶芸論 陶芸演習
兼任	講師	稲垣 隆司 (70) <平成27年4月> 環境科学	兼任	講師	稲垣 隆司 (70) <平成27年4月>	兼任	講師	杉山 範子 (46) <平成28年4月> 環境科学						
兼任	講師	米川 直樹 (66) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級B	兼任	講師	米川 直樹 (66) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級B	兼任	講師	米川 直樹 (67) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B	兼任	講師	米川 直樹 (68) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B	兼任	講師	米川 直樹 (69) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B
兼任	講師	市野 聖治 (69) <平成28年4月> スポーツ中級A スポーツ中級B	兼任	講師	市野 聖治 (69) <平成28年4月> スポーツ中級A スポーツ中級B	兼任	講師	市野 聖治 (69) <平成28年4月> スポーツ中級A スポーツ中級B						
兼任	講師	壺田 陽子 (33) <平成27年4月> 日本語表現	兼任	講師	壺田 陽子 (33) <平成27年4月> 日本語表現	兼任	講師	壺田 陽子 (34) <平成27年4月> 日本語表現 日本語表現上級						
兼任	講師	小出 祥子 (32) <平成27年4月> 日本語表現	兼任	講師	楠瀬 比早子 (43) <平成27年4月> 日本語表現									
兼任	講師	永井 圭司 (33) <平成27年4月> 日本語表現上級	兼任	講師	永井 圭司 (33) <平成27年4月> 日本語表現上級	兼任	講師	永井 圭司 (34) <平成27年4月> 日本語表現上級	兼任	講師	永井 圭司 (35) <平成27年4月> 日本語表現上級	兼任	講師	永井 圭司 (36) <平成27年4月> 日本語表現上級
兼任	講師	岡田 佐由里 (52) <平成27年4月> 英会話1 英会話2	兼任	講師	岡田 佐由里 (52) <平成27年4月> 英会話1 英会話2	兼任	講師	岡田 佐由里 (53) <平成27年4月> 英会話1 英会話2	兼任	講師	岡田 佐由里 (54) <平成27年4月> 英会話1 英会話2	兼任	講師	岡田 佐由里 (55) <平成27年4月> 英会話1 英会話2
兼任	講師	日木 満 (57) <平成28年4月> 実用英語演習1 実用英語演習2	兼任	講師	日木 満 (57) <平成28年4月> 実用英語演習1 実用英語演習2	兼任	講師	日木 満 (57) <平成28年4月> 実用英語演習1 実用英語演習2						

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)									
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	保坂 和直 (64) <平成28年4月> ドイツ語1 ドイツ語2	兼任	講師	保坂 和直 (64) <平成28年4月> ドイツ語1 ドイツ語2	兼任	講師	保坂 和直 (64) <平成28年4月> ドイツ語1 ドイツ語2	兼任	講師	保坂 和直 (65) <平成28年4月> ドイツ語1 ドイツ語2	兼任	講師	保坂 和直 (66) <平成28年4月> ドイツ語1 ドイツ語2
兼任	講師	内田 智秀 (40) <平成28年4月> フランス語1 フランス語2	兼任	講師	内田 智秀 (40) <平成28年4月> フランス語1 フランス語2	兼任	講師	内田 智秀 (41) <平成28年4月> フランス語1 フランス語2	兼任	講師	内田 智秀 (42) <平成28年4月> フランス語1 フランス語2	兼任	講師	内田 智秀 (42) <平成28年4月> フランス語1 フランス語2
兼任	講師	重松 由美 (45) <平成28年4月> スペイン語1 スペイン語2	兼任	講師	重松 由美 (45) <平成28年4月> スペイン語1 スペイン語2	兼任	講師	重松 由美 (45) <平成28年4月> スペイン語1 スペイン語2	兼任	講師	重松 由美 (46) <平成28年4月> スペイン語1 スペイン語2	兼任	講師	重松 由美 (47) <平成28年4月> スペイン語1 スペイン語2
兼任	講師	陳 泰銀 (52) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 泰銀 (52) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 泰銀 (52) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 泰銀 (53) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 泰銀 (54) <平成28年4月> 中国語1 中国語2
兼任	講師	陳 雷 (43) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 雷 (43) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 雷 (43) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 雷 (44) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	陳 雷 (45) <平成28年4月> 中国語1 中国語2
兼任	講師	梁 音 (47) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	梁 音 (47) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	梁 音 (47) <平成28年4月> 中国語1 中国語2	兼任	講師	梁 音 (48) <平成28年4月> 中国語1 中国語2			
兼任	講師	趙 賢美 (42) <平成28年4月> 韓国語1 韓国語2	兼任	講師	趙 賢美 (42) <平成28年4月> 韓国語1 韓国語2	兼任	講師	趙 賢美 (42) <平成28年4月> 韓国語1 韓国語2	兼任	講師	趙 賢美 (43) <平成28年4月> 韓国語1 韓国語2	兼任	講師	趙 賢美 (44) <平成28年4月> 韓国語1 韓国語2
兼任	講師	今村 彩子 (35) <平成27年4月> 手話入門 手話基礎	兼任	講師	今村 彩子 (35) <平成27年4月> 手話入門 手話基礎	兼任	講師	今村 彩子 (36) <平成27年4月> 手話入門 手話基礎	兼任	講師	今村 彩子 (37) <平成27年4月> 手話入門 手話基礎	兼任	講師	今村 彩子 (38) <平成27年4月> 手話入門 手話基礎
兼任	講師	天塚 文雄 (65) <平成28年4月> 特別活動論	兼任	講師	天塚 文雄 (65) <平成28年4月> 特別活動論	兼任	教授	天塚 文雄 (65) <平成28年4月> 特別活動論 生徒・進路指導論	兼任	教授	天塚 文雄 (66) <平成28年4月> 特別活動論 生徒・進路指導論	兼任	教授	天塚 文雄 (67) <平成28年4月> 特別活動論 生徒・進路指導論
兼任	講師	永田 国豊 (65) <平成28年4月> 生徒・進路指導論	兼任	講師	永田 国豊 (65) <平成28年4月> 生徒・進路指導論									
兼任	講師	岡澤 憲一郎 (70) <平成28年4月> 社会学史	兼任	講師	岡澤 憲一郎 (70) <平成28年4月> 社会学史 宗教社会学	兼任	講師	岡澤 憲一郎 (70) <平成28年4月> 社会学史	兼任	講師	岡澤 憲一郎 (71) <平成28年4月> 社会学史	兼任	講師	岡澤 憲一郎 (72) <平成28年4月> 社会学史
兼任	講師	永合 位行 (55) <平成29年4月> 経済社会と倫理	兼任	講師	永合 位行 (56) <平成29年4月> 経済社会と倫理									
兼任	講師	小坂 英雄 (42) <平成29年4月> 起業経営論												
兼任	講師	西寺 雅也 (73) <平成29年4月> 行政学 公共経営論	兼任	講師	西寺 雅也 (73) <平成29年4月> 行政学 公共経営論	兼任	講師	西寺 雅也 (73) <平成29年4月> 行政学 公共経営論						
兼任	講師	小森田 龍生 (31) <平成28年4月> 社会調査法1 社会調査法2	兼任	講師	小森田 龍生 (31) <平成28年4月> 社会調査法1 社会調査法2	兼任	講師	小森田 龍生 (31) <平成28年4月> 社会調査法1 社会調査法2	兼任	講師	小森田 龍生 (32) <平成28年4月> 社会調査法1 社会調査法2	兼任	講師	小森田 龍生 (33) <平成28年4月> 社会調査法1 社会調査法2
兼任	講師	長尾 良子 (53) <平成28年4月> 国際法1 国際法2	兼任	講師	長尾 良子 (53) <平成28年4月> 国際法1 国際法2	兼任	講師	長尾 良子 (53) <平成28年4月> 国際法1 国際法2	兼任	講師	長尾 良子 (54) <平成28年4月> 国際法1 国際法2	兼任	講師	長尾 良子 (55) <平成28年4月> 国際法1 国際法2
			兼任	教授	津田 誠 (64) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B	兼任	教授	津田 誠 (64) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B	兼任	教授	津田 誠 (65) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B	兼任	教授	津田 誠 (67) <平成27年4月> スポーツ初級A スポーツ初級B スポーツ中級A スポーツ中級B

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	黒田 知宏 (38) <平成27年4月>	兼任	准教授	黒田 知宏 (39) <平成27年4月>	兼任	准教授	黒田 知宏 (40) <平成27年4月>	兼任	准教授	黒田 知宏 (41) <平成27年4月>
					現代社会と経済			現代社会と経済						現代社会と経済
			兼任	准教授	濱 満久 (38) <平成27年4月>	兼任	准教授	濱 満久 (39) <平成27年4月>	兼任	准教授	濱 満久 (40) <平成27年4月>	兼任	教授	濱 満久 (41) <平成30年4月>
					地域商業まちづくり学			地域商業まちづくり学						地域商業まちづくり学
			兼任	講師	越智 祐子 (42) <平成27年4月>	兼任	講師	越智 祐子 (43) <平成27年4月>	兼任	講師	越智 祐子 (44) <平成27年4月>			
					減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習			減災福祉まちづくり学 減災福祉まちづくり演習 上級まちづくり演習 ボランティア演習						
			兼任	講師	イアン・ギヤラカー (37) <平成27年4月>	兼任	講師	イアン・ギヤラカー (38) <平成27年4月>	兼任	講師	イアン・ギヤラカー (39) <平成27年4月>			
					英会話1 英会話2			英会話1 英会話2						
			兼任	講師	竹野 富美子 (53) <平成27年4月>	兼任	講師	竹野 富美子 (54) <平成27年4月>	兼任	講師	竹野 富美子 (55) <平成27年4月>			
					基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2			基礎英語1 基礎英語2 英会話1 英会話2						
			兼任	講師	中野 奈央 (41) <平成27年4月>	兼任	講師	中野 奈央 (42) <平成27年4月>	兼任	講師	中野 奈央 (43) <平成27年4月>			中野 奈央 (44) <平成27年4月>
					英会話1 英会話2			英会話1 英会話2						基礎英語1 基礎英語2
			兼任	講師	上野 史朗 (59) <平成27年4月>	兼任	講師	上野 史朗 (60) <平成27年4月>	兼任	講師	上野 史朗 (61) <平成27年4月>	兼任	講師	上野 史朗 (62) <平成27年4月>
					日本史			日本史						日本史
			兼任	講師	村山 由美 (38) <平成27年4月>									
					死生学 宗教と人間 比較宗教学									
			兼任	講師	日沖 直子 (50) <平成27年4月>	兼任	講師	日沖 直子 (51) <平成27年4月>	兼任	講師	日沖 直子 (52) <平成27年4月>	兼任	講師	日沖 直子 (53) <平成27年4月>
					聖書と人間			聖書と人間 キリスト教と文化 宗教と人間 比較宗教学						聖書と人間 キリスト教と文化 宗教と人間 比較宗教学
			兼任	講師	神田 浩史 (54) <平成27年4月>	兼任	講師	神田 浩史 (55) <平成27年4月>	兼任	講師	神田 浩史 (56) <平成27年4月>	兼任	講師	神田 浩史 (57) <平成27年4月>
					人権と社会			人権と社会						人権と社会
			兼任	講師	坪田 輔允 (70) <平成27年4月>									
					スポーツ初級A スポーツ初級B									
			兼任	講師	石川 純子 (61) <平成27年4月>	兼任	講師	石川 純子 (62) <平成27年4月>	兼任	講師	石川 純子 (63) <平成27年4月>	兼任	講師	石川 純子 (64) <平成27年4月>
					英会話1 英会話2			英会話1 英会話2						英会話1 英会話2 実用英語演習1 実用英語演習2
			兼任	講師	飯野 利美 (51) <平成27年4月>									
					基礎英語1 基礎英語2									
			兼任	教授	家本 博一 (65) <平成28年4月>	兼任	教授	家本 博一 (66) <平成28年4月>	兼任	教授	家本 博一 (67) <平成28年4月>	兼任	教授	家本 博一 (68) <平成28年4月>
					インターンシップ1 インターンシップ2			インターンシップ1 インターンシップ2						インターンシップ1 インターンシップ2

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

＜専任教員＞

- ・「地域商業まちづくり学」の担当者として井澤教授を追加。
- ・井澤教授の「減災福祉まちづくり学」「減災福祉まちづくり演習」を担当から外した。COC事業採択に伴い越智講師(兼任)を採用したため。
- ・玉川講師が「死生学」の担当を外れるが、他の教員が担当するため支障はない。
- ・「ボランティア演習」の担当者として玉川講師、山下講師を追加。
- ・初等中等教育局教職員課免許許係の指摘により、教職課程担当の専任教員として國原講師を採用し、「基礎セミナー」「教職論」を担当。

＜兼任・兼任教員＞

- ・「現代社会と経済」の担当者を伊沢教授(兼任)から黒田准教授(兼任)に変更。
- ・「現代社会と教育」の担当者を矢澤教授(兼任)から松本准教授(兼任)に変更。
- ・「教職論」の担当者を矢澤教授(兼任)から國原講師に変更。
- ・「日本史」の担当者を曾我教授(兼任)から上野講師(兼任)に変更。
- ・松本准教授担当の「発展セミナー」は未開講。
- ・「死生学」の担当者を玉川講師、大宮准教授及び亀井講師(兼任)のオムニバスから村山講師(兼任)の単独担当に変更。
- ・「生命倫理」の担当者を大宮准教授(兼任)と亀井講師(兼任)のオムニバスから、亀井講師の単独担当に変更。
- ・「人権と社会」の担当者を大宮准教授(兼任)から神田講師(兼任)に変更。
- ・「ボランティア学」の担当者として大宮准教授(兼任)を追加。
- ・「聖書と人間」の担当者として大宮准教授(兼任)を追加。
- ・「国際社会問題」の担当者として吉田講師(兼任)を追加。
- ・玉田講師(兼任)の自己都合退職により、「日本語表現上級」の担当者を濱野講師(兼任)に変更。
- ・「基礎英語1」「同2」「英会話1」「同2」の担当者を有園講師(兼任)から船井講師(兼任)に変更。
- ・「宗教と人間」及び「比較宗教学」の担当者を志村講師(兼任)から村山講師(兼任)に変更。
- ・「聖書と人間」の担当者を志村講師(兼任)から日沖講師(兼任)に変更。
- ・稲垣講師(兼任)の本務の関係で「環境科学」は未開講。
- ・「日本語表現」の担当者を小出講師(兼任)から榎橋講師(兼任)に変更。
- ・宗教社会学の担当者として岡澤講師(兼任)を追加。
- ・スポーツ初級A及びスポーツ初級Bの担当者として津田教授(兼任)及び坪田講師(兼任)を追加。
- ・「地域商業まちづくり学」の担当者として濱准教授(兼任)を追加。
- ・「英会話1」「英会話2」の担当者としてイアン・ギャラカー講師(兼任)、竹野講師(兼任)、中野講師(兼任)及び石川講師(兼任)を追加。
- ・「基礎英語1」「基礎英語2」の担当者として竹野講師(兼任)及び飯野講師(兼任)を追加。

【平成28年度】

＜専任教員＞

- ・安藤講師、玉川講師が准教授に昇任。
- ・井澤教授が「上級まちづくり演習」の担当を外れたが、水野教授、越智講師(兼任)、田中講師(兼任)が担当するため教育上支障はない。
- ・「キャリアデザイン2a」「キャリアデザイン2b」の担当者として安藤准教授を追加。

＜兼任・兼任教員＞

- ・金准教授(兼任)、飯島准教授(兼任)が教授に昇任。小林講師(兼任)が准教授に昇任。
- ・谷口教授(兼任)が「心理学概論」「教育心理学概論1」「教育心理学概論2」の担当を外れたが、「心理学概論」は加藤講師(兼任)が、「教育心理学概論1」「教育心理学概論2」は長井講師(兼任)が担当するため教育上支障はない。
- ・曾我教授(兼任)が「日本史」の担当者として復帰。
- ・「日本史概説」の担当者を曾我教授(兼任)から鹿毛教授(兼任)に変更。
- ・菅野教授(兼任)の契約満了による退職のため、兼任講師として採用し、「英米文化入門」を担当。
- ・企業研究2の担当者として名城教授(兼任)を追加。
- ・昨年度、教学上の理由により未開講であった松本准教授(兼任)担当の発展セミナーを開講。
- ・大宮准教授(兼任)が割愛により退職。担当科目の後任は以下のとおり。
 - 「ボランティア演習」の担当者を玉川准教授、山下講師及び越智講師(兼任)に変更。
 - 「道徳教育論」の担当者を葛井教授(兼任)に変更。
 - 「聖書と人間」の担当者を杉本講師(兼任)に変更。
- ・「国際社会問題」の担当者を吉田講師(兼任)から中原講師(兼任)の単独担当に変更。
- ・「インターンシップ1」「インターンシップ2」の担当者として田中講師(兼任)を追加。
- ・川越講師(兼任)が休職のため、「日本語表現上級」の担当を外れたが、濱野講師(兼任)、長井講師(兼任)、堅田講師(兼任)が担当するため教育上支障はない。
- ・中山講師(兼任)の自己都合による退職のため、担当科目から外れるが、「基礎英語1」「基礎英語2」は他の教員(5名)が、「英会話1」「英会話2」は山崎講師(兼任)が担当するため、教育上支障はない。
- ・船井講師(兼任)の契約満了による退職のため、担当科目から外れるが、「基礎英語1」「基礎英語2」は他の教員(5名)が、「TOEIC英語演習1」「TOEIC英語演習2」は梁講師(兼任)が担当するため、教育上支障はない。
- ・「キリスト教と文化」の担当者を志村講師(兼任)から日沖講師(兼任)に変更。
- ・「生命倫理」の担当者を亀井講師(兼任)から文准教授(兼任)に変更。
- ・「環境科学」の担当者を稲垣講師(兼任)から杉山講師(兼任)に変更。
- ・「スポーツ中級A」の担当者として米川講師(兼任)を追加。
- ・「日本語表現上級」の担当者として堅田講師(兼任)を追加。
- ・「日本語表現」の担当者を榎橋講師(兼任)から松山講師(兼任)に変更。
- ・犬塚講師(兼任)を兼任教授として採用。「生徒・進路指導論」の担当者を永田講師(兼任)から犬塚教授(兼任)に変更。
- ・「宗教社会学」の担当から岡澤講師(兼任)が外れるが、宮坂講師(兼任)が担当するため教育上支障はない。
- ・津田教授(兼任)及び坪田講師(兼任)が「スポーツ初級A」「スポーツ初級B」の担当を外れるが、他の教員(4名)が担当するため、教育上支障はない。
- ・「上級まちづくり演習」「ボランティア演習」の担当者として越智講師(兼任)を追加。
- ・村山講師(兼任)が担当科目を外れたが、「死生学」は文准教授(兼任)が、「宗教と人間」「比較宗教学」は日沖講師(兼任)が担当するため教育上支障はない。
- ・飯野講師(兼任)が「基礎英語1」「基礎英語2」の担当を外れるが、他の教員(5名)が担当するため、教育上支障はない。
- ・「インターンシップ1」「インターンシップ2」の担当者として冨本教授(兼任)を追加。
- ・「スポーツ初級A」「スポーツ初級B」「スポーツ中級A」「スポーツ初級B」の担当者として白井講師(兼任)及び鬼頭講師(兼任)を追加。
- ・「基礎英語1」「基礎英語2」「英会話1」「英会話2」の担当者として山崎講師(兼任)を追加。
- ・「基礎英語1」「基礎英語2」の担当者として城野講師(兼任)を追加。
- ・「基礎英語1」「基礎英語2」「TOEIC英語演習1」「TOEIC英語演習2」の担当者として梁講師(兼任)を追加。
- ・「キリスト教倫理」の担当者として杉本講師(兼任)を追加。

【平成29年度】

＜専任教員＞

- ・小林教授(学部長)の学長就任に伴い、井澤教授が学部長に就任。小林教授の担当科目を以下のように変更し、教育上支障がないようにした。
 - 「基礎セミナー」「専門基礎演習」「現代社会演習1」は他の専任教員が担当。
 - 「社会政策論」は後任未定のため未開講。次年度開講に向け調整中。
 - 「労働社会学」の担当者を谷岡講師(兼任)に変更。
 - 「国際理解1」「同2」「同3」「同4」の担当者を井澤教授に変更。
 - 「中長期インターンシップ1」「中長期インターンシップ2」の担当者を榎澤准教授に変更。
 - 「現代社会演習2」「卒業研究」は、他の教員へ移行予定。
- ・「キャリアデザイン3a」「キャリアデザイン3b」の担当者を松永教授(兼任)から安藤准教授に変更。
- ・笠井教授、十名教授及び名城教授(兼任)担当の「企業研究2」は未開講。次年度開講予定。
- ・今村教授が「人類学」の担当者を外れたが、竹ノ下講師(兼任)が担当するため教育上支障はない。

＜兼任・兼任教員＞

- ・鈴木准教授(兼任)が教授に昇任。宮坂講師(兼任)、齊藤講師(兼任)、人見講師(兼任)が准教授に昇任。
- ・「インターンシップ1」「インターンシップ2」の担当者を松永教授(兼任)から高木教授(兼任)に変更。
- ・秋元教授(兼任)の定年退職により、「実用統計学」は未開講。次年度開講に向けて調整。
- ・「企業研究1」の担当者として名城教授(兼任)を追加。
- ・伊藤准教授(兼任)の割愛による退職に伴い、科目担当者を以下のように変更。
 - 「基礎英語1」「基礎英語2」の担当者を平石講師(兼任)に変更。
 - 「情報英語演習1」「情報英語演習2」の担当者を城教授(兼任)及び平石講師(兼任)に変更。
- ・「企業経済論」の担当者として上山准教授(兼任)を追加。
- ・川越講師(兼任)の姓の変更(川越から川崎)。休職期間から復帰。
- ・「キリスト教人間学」の担当者を石田講師(兼任)から葛井教授(兼任)に変更。
- ・杉山講師(兼任)の本務の関係で、「環境科学」は未開講。次年度開催に向け調整。
- ・「日本語表現」の担当者を堅田講師(兼任)から樋口講師(兼任)に変更。
- ・「日本語表現上級」の担当者を堅田講師(兼任)から川崎講師(兼任)に変更。
- ・「実用英語演習1」「実用英語演習2」の担当者を日木講師(兼任)から石川講師(兼任)に変更。
- ・本務の関係で、西寺講師(兼任)が就任辞退。「行政学」の担当者を永戸講師(兼任)に変更。公共経営論は未開講。次年度開催に向け調整。
- ・「スポーツ中級A」「スポーツ中級B」の担当者を市野講師(兼任)から津田教授(兼任)に変更。
- ・「現代社会と経済」の担当者を黒田准教授(兼任)から木船教授(兼任)に変更。
- ・「ボランティア学」「ボランティア演習」の担当者として文准教授(兼任)を追加。
- ・「聖書と人間」の担当者を杉本講師(兼任)から葛井教授(兼任)に変更。
- ・「キリスト教倫理」の担当者を杉本講師(兼任)から神山講師(兼任)に変更。

【平成30年度】

＜専任教員＞

- ・山下講師、野尻講師、國原講師が准教授に昇任。
- ・小林教授が「社会政策論」を担当。
- ・「社会保障論」の担当者を小林教授から村上准教授に変更。
- ・笠井教授及び十名教授担当の「企業研究1」は未開講。
- ・水野教授及び文准教授(兼任)担当の「ボランティア学」は未開講。
- ・水野教授が「上級まちづくり演習」の担当を外れるが、他の教員(2名)が担当するため、教育上支障はない。
- ・「文明論」の担当者を今村教授から竹ノ下講師(兼任)に変更。
- ・井澤教授、今村教授、古池教授、十名教授、榎澤准教授、川村准教授、村上准教授、山下准教授が「基礎セミナー」の担当を外れ、他の専任教員(9名)が担当。
- ・水野教授、安藤准教授、村上准教授が「専門基礎演習」の担当を外れ、他の専任教員(13名)が担当。
- ・十名教授、村上准教授が「現代社会演習1」の担当を外れ、他の専任教員(14名)が担当。
- ・玉川准教授、村上准教授が「現代社会演習2」の担当を外れ、他の専任教員(14名)が担当。
- ・玉川准教授、村上准教授が「卒業研究」の担当を外れ、他の専任教員(14名)が担当。
- ・水野教授、榎澤准教授、玉川准教授、中島准教授、村上准教授、山下准教授が「プロジェクト演習A」の担当を外れ、他の専任教員(3名)が担当。
- ・江口教授、古池教授、榎澤准教授、中島准教授、村上准教授が「プロジェクト演習B」の担当を外れ、他の専任教員(4名)が担当。
- ・「現代社会入門」を村上准教授の単独開講に変更。
- ・「マクロ経済学入門」の担当者を村上准教授から黒田准教授(兼任)に変更。
- ・玉川准教授及び山下准教授が「ボランティア演習」の担当を外れ、文准教授(兼任)、神山講師(兼任)が担当。
- ・山下准教授が「現代社会調査」の担当を外れ、玉川准教授が担当。

＜兼任・兼任教員＞

- ・濱准教授(兼任)が教授に昇任。伊藤講師(兼任)が准教授に昇任。
- ・「国際経済学」の担当者を伊沢教授(兼任)から黒田准教授(兼任)に変更。
- ・秋元教授(兼任)の後任補充ができないため、「実用統計学」は未開講。
- ・曾我教授(兼任)が「日本史」の担当を外れ、上野講師(兼任)が担当。
- ・「実用英語演習1」「実用英語演習2」の担当者を城教授(兼任)から平石講師(兼任)に変更するとともに、「英会話1」「英会話2」の担当者として城教授(兼任)を追加。
- ・「企業経済論」の担当者を大石教授(兼任)から秋山准教授(兼任)に変更。
- ・名城教授(兼任)の定年退職により、兼任講師として採用。「外国史概説」を担当。「企業研究2」の担当を外れ、笠井教授、十名教授及び阿部教授(兼任)が担当。
- ・藤井准教授(兼任)の定年退職により後任補充ができないため、「商法」「会社法」は未開講。
- ・小林准教授(兼任)が2018年4月から1年間に在研修となり、古川講師(兼任)が科目を担当。
- ・葛井教授(兼任)の定年退職により、兼任講師として採用。「道徳教育論」を担当し、「キリスト教人間学」「聖書と人間」は石田講師(兼任)に変更。
- ・石田講師(兼任)が「キリスト教倫理」の担当を外れ、文准教授(兼任)が担当。
- ・杉山講師(兼任)の後任補充ができないため、「環境科学」は未開講。
- ・梁音講師(兼任)が「中国語1」「中国語2」の担当を外れ、陳泰銀講師(兼任)及び陳雷講師(兼任)が担当。
- ・小坂講師(兼任)担当の「企業経営論」は未開講。
- ・「現代社会と経済」の担当者として黒田准教授(兼任)を追加。
- ・越智講師(兼任)の任期満了による退職に伴い、「滅災福祉まちづくり学」「滅災福祉まちづくり演習」は澤田講師(兼任)が、「上級まちづくり演習」「ボランティア演習」は他の教員(2名)が担当。
- ・イアン・ギャラカー講師(兼任)の契約満了による退職のため、「英会話1」「英会話2」は他の教員(6名)が担当。
- ・竹野講師(兼任)の自己都合退職に伴い、「英会話1」「英会話2」「基礎英語1」「基礎英語2」は他の教員(「英会話1・2」6名、「基礎英語1・2」5名)が担当。
- ・中野講師(兼任)が「英会話1」「英会話2」の担当を外れ、他の教員(6名)が担当。
- ・「基礎英語1」「基礎英語2」の担当者として中野講師(兼任)を追加。
- ・「キリスト教倫理」の担当者を神山講師(兼任)から文准教授(兼任)に変更。
- ・「ボランティア演習」の担当者として神山講師(兼任)を追加。
- ・平石講師(兼任)が「情報英語演習1」「情報英語演習2」の担当を外れ、城教授(兼任)が担当。
- ・「英会話1」「英会話2」の担当者としてD.S.ポイヤール講師(兼任)を追加。

- ・「上級まちづくり演習」の担当者として澤田講師(兼任)を追加。
- ・「行政学」の担当者を永戸講師(兼任)から野口講師(兼任)に変更。
- ・「日本語表現」の担当者を松山講師(兼任)から畠中講師(兼任)に変更。
- ・西寺講師(兼任)就任辞退のため、「公共経営論」の担当者として杉戸講師(兼任)を追加。
- ・「労働社会学」の担当者を谷岡講師(兼任)から石田講師(兼任)に変更。

(注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
9	4	4	0	17	9	9	0	0	18	9	9	0	0	18
(9)	(4)	(4)	(0)	(17)						[0]	[5]	[Δ4]	[0]	[+1]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に記入した数字に、教員審査を卒業済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{17} = \boxed{105.88} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0.00} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし			①		
					②		
					③		
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし			①		
					②		
					③		
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{17} = 0.00 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし			①				
					②				
					③				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項につ いての実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		
設置計画履行 状況調査時 (平成28年2月)	スポーツ健康学部こども スポーツ教育学科の定 員充足率の平均が0.7倍 未満となっていること から、学生確保に努めると ともに、入学定員の見直 しについて検討するこ と。	改善意見 開設初年度の入学者は12名であったが、平成28年度は 38名に改善された。今年度は以下の取組を行い、定員充 足を図る。 ①本学科専任教員が昨年訪問した中で出願のあった高 等学校を重点校として選び、さらに丁寧な情報提供を行 う。それ以外の高等学校については、入学センターの職員 が訪問を行いフォローする。②昨年に続き、教育系統志 望者へのダイレクトメール送付を実施し、本学科への興 味・志願度を上げるよう努める。③高等学校で実施される 模擬講義について、可能な限り本学科の講義を実施でき るようにする。(28)	履行済
設置計画履行 状況調査時 (平成29年2月)	スポーツ健康学部こども スポーツ教育学科の定 員充足率の平均が0.7倍 未満となっていること から、学生確保に努めると ともに、入学定員の見直 しについて検討するこ と。	改善意見 平成29年度の入学者数は39名となり、定員充足率の平 均が0.50から0.59に改善された。平成28年度に実施した取 り組みに一定の効果がみられたため、平成29年度も継続 実施する。①本学科の特長を簡潔にまとめた統一ビジュ アル(写真とキャッチコピー)を制作し、それをういて7月に 交通広告を実施した。②本学科の教員スタッフ・実習施設 紹介のチラシを作成し、5月から8月にかけて、本学科の専 任教員が東海地方を中心に約200校の高校訪問を実施し た。③大手予備校などのデータを活用し教員養成系統志 望者へダイレクトメールを配布し、マーケットの拡大を図っ た。 また、平成29年(2017)年度からは、瀬戸市小学校長経 験者が特任教授として就任し、教職センターで教職指導を 行うとともに、教育現場観察や教育活動支援等に関して 教育委員会との連携をより強化する。広報、学生募集にお いて、このように教員養成の指導が強化されることをPRし、 定員充足を図る。(29)	履行済
設置計画履行 状況調査時 (平成29年2月)	国際文化学部国際協力 学科の定員充足率の平 均が0.7倍未満となっ ていることから、学生確保 に努めるとともに、入学 定員の見直しについて 検討すること	改善意見 国際協力量科では平成28年度の入学者が22名であつた が、以下の取り組みにより平成29年度の入学者は45名と なり、定員充足率の平均が0.73に改善された。 ①前年度に引き続き、大手予備校などのデータを活用し 国際学系統志望者へダイレクトメールを配布し、マーケッ トの拡大を図った。 ②第8代ユネスコ事務局長であつた松浦晃一郎氏を本学 特任教授として招聘し、11月22日に公開授業を実施するこ とに、学生の海外スタディツアーや海外ボランティアの報 告等も実施するなど、本学科の広報活動を推進した。 ③本学科の教育内容を紹介するパンフレットを新たに制作 し、学科のゼミ活動や海外スタディツアーの成果等を取り まとめ、高校訪問、進学相談会等で配布・紹介した。 ④本学科の学びの内容と意義をわかりやすく伝えられるよ う、進学相談会や高校での模擬授業には他学科より優先 的に参加した。 ⑤英検、TOEIC、GTECなど英語関連資格の取得者を対象 としたグローバル人材特別入試を新たに導入した。 平成29年度においては、以下外国語・国際教育に関する ハード・ソフト両面での充実を強くPRするとともに、高大連 携の充実を図る取り組みを行い、定員充足を図る。 ①平成30(2018)年9月、名古屋キャンパス白鳥学舎の近 隣に新学舎「大宝学舎」を開設し、本学がこれまで重点的 に取り組んできた外国語・国際教育に関するハード面の充 実を図る。 ②大宝学舎を活用して、とりわけ国際文化学部及び外国 語学部の語学授業やアクティブ・ラーニングと授業外学習 及びその支援、外国人留学生との交流等を集約的に提供 し、ソフト面の充実を図る。 ③愛知県はユネスコスクールの活動の先進地域であるこ とから、個別高等学校に直接的に連携を働き掛け、高校 生・留学生・本学部生の交流活動や共同作業を伴うよう な事業の検討を進める(29)	履行済

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項につ いての実施計画
設置計画履行 状況調査時 (平成30年2月)	スポーツ健康学部こども スポーツ教育学科の定 員充足率の平均が0.7倍 未満となっていることか ら、学生確保に努めると ともに、入学定員の見直 しについて検討すること。	改善意見	<p>本学科の開設初年度の入学者が12人となったことを受け、高等学校の進路指導教員や受験生の認知度を更に高めるために、開設2年目から3年目にかけて以下の取組を実施した。</p> <p>① 学科の特長を簡潔にまとめた統一ビジュアル(写真とキャッチコピー)を用いたホームページ・パンフレット・ダイレクトメール・交通広告等の展開。</p> <p>② 本学科の専任教員及び実習施設紹介のチラシを作成し、専任教員による高校訪問の実施。</p> <p>③ 大手予備校等のデータを活用し、教員養成系統志望者へのダイレクトメール発送。</p> <p>その結果、開設後の入学定員超過率は、0.24倍、0.76倍、0.78倍と改善傾向を示してきた。そこで、完成年度の募集においては、専任教員による高校訪問、教員養成系統志望者へのダイレクトメールを継続実施し、さらに、瀬戸市立中学校校長経験者を特任教授として採用し教職指導の充実や教育委員会との連携強化を図った。しかし、志願者数は横ばい状況から脱し得ず、平成30年度の入学定員超過率は0.52倍となり、定員充足率の平均は前年度の0.59から0.57に低下した。その背景として、私立大学における教員養成系学部への入学定員超過率が全国的に低下傾向にあることも一因と考えられ、本学科開設の平成27年度から平成29年度にかけて、全国で1.06倍から1.02倍に、愛知県で1.00倍から0.98倍へと低下している。</p> <p>こうした状況を踏まえ、平成31年度入学者の募集においても前年度までの取組を継続実施するとともに、来春卒業する第1期生の進路状況をPRすることにより、定員充足を図る。あわせて、完成年度後の入学定員の見直しを含め、今年度中に方向性を確定する予定である。</p> <p>注)データ出所 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」 各大学のウェブサイト(30)</p>	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<現代社会学部現代社会学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

別添「FD委員会規程」に基づき、全学的なFD委員会の下部組織に、現代社会学部FD会議を設置している。現代社会学部FD会議の構成は、学部長を座長として、専任教員全員で構成している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度には、現代社会学部教授会の終了後を基本に、年10回開催した。本学部学科（1～3年生）は未だ完成年度を迎えていないため、3年生の教育イベントや卒業研究の質等の新たな取組について、議論するテーマがあり、それを遂行する教員の資質や体制を含め、議論することに重点が置かれた。教授会後に実施したため、全体を通して、ほぼ全員参加であった。

c 委員会の審議事項等

平成29年度は、以下のテーマについて議論した。

- ・平成31年度からの新カリキュラムの基本方針とその見直しに関する事
- ・教育改革の取組の一環で、教員と学生の心理的距離を縮めるゼミナルガイドブックの作成に関する事
- ・3年生の研究発表に向けた教育イベントのあり方と運営に関する事
- ・現代社会学部にふさわしい卒業研究のあり方と質の保証に関する事
- ・大学の魅力向上と学生の動向

② 実施状況

a 実施内容

昨年度実施した基本的な実施内容は継続実施して、さらに新しい課題に対処している。

A 学生支援とゼミナル等運営

- ①教員相互による学生情報の交換とフォロー態勢の構築（オフィスアワーの有効活用を含む）
- ②授業評価アンケート結果に基づく教育サービスの質的向上
- ③ゼミナルガイドブックの作成と配布
- ④学修指導と履修ガイダンスの実施
- ⑤ゼミナル運営とPBL型授業の定員管理

B 新カリキュラムの見直しと教育イベント等の運営

- ①学部完成年度後の平成31年度以降のディプロマ・ポリシーに対応したカリキュラム検討
- ②新規教育イベントである現代社会フォーラムの内容検討と運営
- ③現代社会学部にふさわしい卒業研究内容の検討

b 実施方法

A 学生支援

- ①学部生の学生生活全般に目を配り、それを支援するため、FD会議での情報交換と臨機応変にサイボウズを活用して、最新情報を全教員で共有することを図った。また、全教員がオフィス・アワーを設け、学生と教員との交流を促進し、定着させることで学生の学修成果をより向上させよう取り組んだ。
- ②授業評価アンケートを春学期、秋学期に実施し、教員・学生ヘフィードバックする体制を構築した。
- ③教員と学生との距離感を縮め、2年次、3・4年次のゼミ選択を容易にするため、教育改革の取組として、教員全員を対象にしたゼミナルガイドブックを作成・配布し、活用した。
その評価について、1・2年生にアンケートを実施し、高評価を得ていることが分かった。
- ④春学期開始直前（春休み期間）と秋学期開始直前（夏休み期間）に成績や出席の良くない学生に対する学修指導（全学年）及び新年度や新学期を迎えるにあたっての履修ガイダンス（1・2年生対象）を実施した。プロジェクト演習やインターンシップについては、履修済みの学生による報告会を開催するなど、積極的な履修支援活動を行った。
- ⑤クラスアドバイザー制度を運用し、学生一人ひとりに教員がつき、学業面や生活面に対して助言する態勢を整備した。また、この制度を軸に、担当教員が、学生相談室、学生支援課及び学生課と協働することで、学生を正課だけではなく学生生活や課外活動など多角的な視点からフォローする体制を確立した。PBL型授業であるプロジェクト演習は、当初より定員枠を絞ると履修登録だけして、参加しない学生が発生する事態が生まれるため、枠を拡大したうえで絞る方式を採用することで定員管理を行った。

B 新カリキュラムの見直しと教育イベント等の運営

- ①本年度で本学部学科は完成年度を迎える。来年度からは全学で新カリキュラムに移行する時期であることから、教育の質を高める方向でカリキュラム再編の検討を行ってきた。
- ②3年生の現代社会フォーラム（卒業研究中間報告やプロジェクト演習・インターンなどの成果報告）を初めて取り組むことから、その枠組みと実施内容について、実行委員会を設け検討し、運営した。3年生の取組であるが、2年生も参加することで継続性を担保し、教育の質を高める努力を行っている。
- ③社会が求めている教育の質とは何かの議論を発端に、現代社会学部にふさわしい卒業研究のあり方について議論を開始した。ディプロマポリシーや履修規程との整合性を含め、検討している。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・クラスアドバイザーに就いた教員相互による学生情報の交換、事務局との連携を通じて、学部の構成員全員で学生をフォローする態勢をとっている。
 - ・履修ガイダンスの実施に当たっては、分担しながら、最終場面では全員参加で実施している。
 - ・FD会議を教授会後に原則開催し、ほぼ全員参加で議論している。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

昨年度と同様に、教授会あるいは教授会終了後のFD委員会において教員全員参加で意見交換を行い、その結果を受けて、教員各自が授業改善に取り組んだ。特に学生支援については、サイボウズで注視すべき学生の情報交換（個人情報に配慮しながら）を行い、学部全体で対応している。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

平成29年度については、予定通り、春学期は春学期は6月～7月に、秋学期は12月～1月に実施した。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等

教職員、学生とも、担当部署（学生支援課・瀬戸キャンパス総合事務局）にて閲覧できる。また、教員は、自分の担当科目を学内イントラネットでも閲覧できる。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代社会学部現代社会学科は、経済学部総合政策学科の趣旨と成果を継承してそれをより充実させつつ、これまで学内に蓄えてきた社会学・社会福祉学の分野をさらに発展させて明確に組み込むことにより設置したものである。

私たちの社会は、いま、安定と成熟のなかにありながら複雑化・多様化が進み、その持続可能性を問われて大きな転換に向かっている。そうした現代社会を生き抜くには多くの課題や困難が待ち受けており、だからこそ、そこには、次代を担う人材育成に関する新しい、多様なニーズが広がっている。現代社会学部の目的は、「敬神愛人」という建学の精神に照らして、こうした現代社会が求める幅広い基礎的教養と現代社会がもつさまざまな側面を洞察し、的確な判断ができる専門的知識、ならびに現代社会を生き抜くために必要な課題発見・問題解決型能力と積極的な行動力をもつ人材を養成することにある。

現代社会学部の教育課程は、上記のような理念のもとでその目的を達成するために、以下のようなカリキュラムポリシーを掲げている。これらの理念や目的、そしてカリキュラムポリシーについては、まず入学時の新入生オリエンテーションにおいて、きめ細かい学部・履修ガイダンスを行い、さらに春学期の導入科目である「現代社会入門」でも丁寧に説明した。また、秋学期開始時の学修ガイダンス、そして2年次での履修や学修に備えるために実施した1年次3月の学修ガイダンスでも繰り返し説明した。学修の効果を可能な限り実り豊かにするためには、学生がみずからその教育課程の理念や目的を自覚することが大切である。その意味では、平成27年度は、最初の新入生である一期生に対して丁寧に十分な履修・学修ガイダンスが実施できたのであり、今後も続けていきたいと考えている。

＜現代社会学部：カリキュラムポリシー＞

- 1) ≪NGU教養スタンダード科目≫を学びの基礎とし、さらに現代社会をよく知り、現代社会を調べ、課題を発見する力を養うための基礎づくりとして≪専門基礎科目≫を厳選して配置する。
- 2) 現代社会学部を構成する基本分野として＜人間社会と心理＞、＜経済社会と企業＞、＜社会制度と政策＞及び＜社会生活と地域＞という4つを設定し、これらをもとに≪基幹科目≫と≪展開科目≫に必要な専門科目をバランスよく配置してカリキュラムを編成する。
- 3) 段階的・系統的な学修のための「履修モデル」とともに、具体的なテーマや課題の提示を通じてさまざまな角度からの“現代社会”への積極的なアプローチを促すために、コンパクトな履修パッケージとして「現代社会を学ぶアイテム」をいくつか用意する。
- 4) 「プロジェクト演習」、「中長期インターンシップ」及び「教育イベント」などを通して、座学だけにとどまらず、関心の高い分野に対し、課題発見から解決方法そして実践までを一貫しておこなう「アクティブな学び」の場や機会を数多く提供する。

これらに従い、平成27・28年度と同様に、1年次生に対して授業計画にもとづき、≪NGU教養スタンダード科目≫（「キリスト教概説」、「基礎セミナー」、「日本語表現」、「基礎英語」、「英会話」及び「情報処理基礎」の必修科目、「キャリアデザイン1」ならびに多様な教養科目）、≪専門基礎科目≫（「社会学入門」、「ミクロ経済学入門」、「マクロ経済学入門」、「法学入門」及び「地域政策入門」）を履修させ、また春学期の「現代社会入門」により、現代社会を学ぶ意義ならびに時事問題に関する基礎的な理解を促進し、秋学期の「社会リサーチ入門」により、現代社会の現状をリサーチする基礎的な方法等、さらに課題発見・問題解決型能力のための基礎を身につかせた。

「基礎セミナー」の担当教員をクラスアドバイザーとして位置づけ、演習での授業やコミュニケーションによって、さらにオフィスアワーを活用した個人面談を通して個々の学生に対してきめ細やかな指導を行った。

2年次生は≪専門科目≫（基幹科目、展開科目）の授業を実施しており、本学部の特徴である「アクティブな学び」としての「プロジェクト演習」や「中長期インターンシップ」、資格取得に向けた「社会調査士」を実施している。「プロジェクト演習」は担当教員の努力もあって、順調に成果を上げている。他方、「中長期インターンシップ」は3週間から4週間を前提としているため、実施時期が夏休みや冬休みに限定され、まだまだ受講者が少ない状況にある。そのため、成果報告会を単独で実施し、多くの参加者を得るようにしている。なお、これらの「アクティブな学び」については、教育イベントである現代社会フォーラムで成果報告会を開催し、内容の周知を図っている。「社会調査士」関連の科目受講生は84名となっている。

大部分の学生は、計画どおり履修した科目の単位を取得できているが、なかには十分な単位を取得できない学生も出たため、そのような学生に対しては、2・3年次の履修登録をする直前の春学期開始直前と秋学期開始直前に学修指導と履修ガイダンスを実施した。

以上のように、平成29年度において、現代社会学部のカリキュラムは、ほぼ計画どおりに実施できており、これまで順調に運用されてきたと考えている。こうしたことから現代社会学部は、その設置の趣旨や目的に照らしてその教育目標をおおむね達成できたと自己評価できる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年4月18日 公表済。

b 公表方法

・自己点検・評価報告書をホームページで公表済。

③ 認証評価を受ける計画

・公益財団法人大学基準協会による認証評価を受審中である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (年 月 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。